

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名	教育委員報酬						所 管 課 等	部 局	教育委員会			
								課等・班	教育総務課・庶務班			
① 事務 事業 の 概 要	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1442	内線	2353
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp		
	具体的施策											
	実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償等に関する条例				
直接の対象者 (〜に対して)	教育委員						最終的な 受益者	市民				
事業目的 (〜という状態にするために)	教育行政を運営するにあたり、地方公共団体に教育委員を置き、地域の実情に応じた教育の振興を図る。											
具体的な事業内容 (〜を行う)	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会会議として、定例会及び臨時会を開催する。 ・教育委員による学校等教育機関訪問を実施する。 ・総合教育会議の構成員として、市長が招集する会議に出席する。 											
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当										
		項目										
Do 事務事業の実施												
③ 実 績 ・ 成 果	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)					
	事業の実績	1	教育委員会定例会等開催数	回	13	12	13	12				
		2	総合教育会議出席数	回	1	1	1	2				
	事業の効果	1	定例会等議案審議件数	件	50	49	46	50				
		2	総合教育会議協議案件数	件	3	4	2	3				
	事業効果に関する外部要因											
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会の会務に対する管理・監督に寄与している。 ・教育委員会会議を定期的に開催し、市の教育行政に係る基本方針や重要施策を審議・決定し、適正な運営に努めた。 										
④ 事 業 コ ス ト	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	2,208	2,208	2,208	2,208					
	決算額			千円	2,208	2,208	2,208					
		特定・その他財源()	千円									
	一般財源		千円	2,208	2,208	2,208						
2年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			報酬	2,208								

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市教育行政に対する市民のニーズは高くなっており、その教育行政の重要施策を審議・決定する教育委員会会議は、市民の生活に直接関係があるため、必要である。		A
		市の関与は妥当ですか	a	法に基づき市教育行政の重要事項を審議・決定する機関であり不可欠である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	月1回の定例会の開催に合わせ、学校等教育機関の訪問を実施し、現状の把握に努めた。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	月1回の定例会において、集中的に審議を行うことで、効率的な事務事業の執行を行っている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	教育委員会で決定された教育施策は、市教育行政全体へ反映されるため、公平性に問題はない。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	市のホームページで議事録(公表できない部分を除く)を公開し、透明性に努めるとともに市民のニーズに応じていく。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない		評価者 1	A	
		B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない		評価者 2	A	
C 検討の余地あり		D 検討の余地は大きい				
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	3年度における取組のPRと方向性	・教育を取り巻く環境が激変する中で、教育委員会は実態を把握し、より実効的な活動をするため、平成17年度から実施している学校等教育機関訪問を引き続き実施する。 ・教育委員会会議、総合教育会議等の議事録、活動内容等をホームページで公開するなど、教育委員会の透明性を保持する。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 ・教育委員会会議は、教育行政の重要事項を審議・決定する機関であり、継続して実施していかなければならない。 ・さらに現状を把握し、「総合教育会議」の利活用を充実し、教育委員会の一層の活性化を図る。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要													
事務事業名		教育委員会諸費						所 管 課 等	部 局	教育委員会			
									課等・班	教育総務課・庶務班			
① 事務 事業 の 概 要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							電話番号	443-1442	内線	2353
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp		
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実										
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 八街市教育委員会表彰規程				
直接の対象者(〜に対して)	市民・教育委員						最終的な受益者	市民					
事業目的(〜という状態にするために)	・教育、学術、文化又はスポーツの振興に関し、優秀な人材育成に資する。 ・教育委員会の活性化を図るため、教育委員の資質・能力の向上を図る。												
具体的な事業内容(〜を行う)	・教育委員会定例表彰式を実施する。 ・教育委員が、研修等に参加する。												
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目											
Do 事務事業の実施													
③ 実 績 ・ 成 果	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)						
	事業の実績	1	定例表彰式の実施	回	1	1	0	1					
		2	教育委員の研修等への参加	回	3	3	0	3					
	事業の効果	1	教育委員会表彰被表彰者	人(団体)	35	41	12	30					
事業効果に関する外部要因													
事業効果の総合分析(達成できたこと)		・教育、学術、文化又はスポーツに関し、功績が顕著であった個人又は団体を顕彰し、優秀な人材の育成に寄与している。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により式典は中止とし、表彰状は推薦者を通し受賞者に贈呈いたしました。 ・教育委員においての研修についても、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。											
④ 事 業 コ ス ト	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)						
	(最終)予算額		千円		210	205	199	199					
	決算額		千円		185	180	112						
		特定・その他財源()	千円										
		一般財源	千円		185	180	112						
2年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			需用費	14									
			負担金	98									

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	定例表彰式の実施は、教育、学術、文化、スポーツに対する意欲の向上に大きく貢献しており、ニーズは高い。		A
		市の関与は妥当ですか	a	教育、学術、文化、スポーツの振興を目的としており、公共性・公平性が求められることから、市が主体となる必要があり、関与は妥当である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	本市の教育、学術、文化、スポーツの振興に貢献している。また、教育委員の研修等を実施することにより、資質・能力の向上が図られている。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	教育委員会の定例表彰式と八街市定例表彰式を合同で行うことで、効率性を高めている。また、教育委員の研修等は、県や印旛郡市の協議会が主催することから、周辺市町との交流も深めることができる。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	必要な経費を公費負担することは問題ない。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	市教育行政の方向性を共有するための基礎となることであり、今後も継続していきたい。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	3年度における取組のPRと方向性	・多面的な情報収集に気を配っていききたい。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 ・スポーツ大会等が多様化しており、定例表彰候補者の選定に苦慮しているが、公平な審査基準を保持できるよう努めたい。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		教育委員会事務局諸費						所 管 課 等	部 局	教育委員会		
									課等・班	教育総務課・庶務班		
① 事務 事業 の 概 要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1442	内線	2353
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp		
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実									
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 八街市一般職の臨時職員等の任用等に関する規則			
直接の対象者(〜に対して)	教育委員会事務局						最終的な受益者	市民				
事業目的(〜という状態にするために)	・教育委員会が実施する施策等を円滑かつ効率的に行うために、その庶務的な事務を行う。											
具体的な事業内容(〜を行う)	・教育委員会事務局の代表である教育長に係る経費(旅費・交際費・負担金等)の支出とする。 ・教育委員会事務事業の点検及び評価を実施する。											
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③ 実 績 ・ 成 果	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)					
	事業の実績	1	教育長交際費	件	13	14	4	12				
		2										
		3										
	事業の効果											
事業効果に関する外部要因												
事業効果の総合分析(達成できたこと)		・教育長交際費の適正な支出を行えた。 ・教育委員会の主管課として、事務事業のとりまとめ役を果たしている。										
④ 事 業 コ ス ト	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)					
	(最終)予算額		千円		2,956	36,188	602	710				
	決算額		千円		2,688	35,829	481					
		特定・その他財源()	千円		243	254						
		一般財源	千円		2,445	35,575	481					
2年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			報償費	8 負担金及び補助金		181						
			交際費	20								
			需用費	272								

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	教育に対する関心・注目が高まっている中、各種要望等に対応しなければならない。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	教育施策を実現するため、教育委員会事務局内の事務の円滑化を図ることが重要である。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	事務の円滑化が図られることにより、教育施策の早期実現が可能となる。		A			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	毎年度ごとに事務事業の評価・点検を実施することにより、常に見直しを行っている。		A			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	施策が実現されることにより、効果が広く市民に還元される。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	多種・多様なニーズに対し、現状の限られた予算・人員でいかに迅速かつ的確に対応していくかが課題となってくる。		A			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	3年度における取組のPRと方向性	令和元年度に見直しをした教育振興基本計画に基づき事業を円滑に取り組んでいく。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		教育振興基本計画をベースとした教育施策に基づき、教育委員会事務局内の事務を円滑に進められるよう努める。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		小学校施設整備事業費						所 管 課 等	部 局	教育委員会		
									課等・班	教育総務課・施設班		
① 事務 事業 の 概 要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1442	内線	2353
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp		
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実									
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	学校施設の整備				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針			
	直接の対象者(～に対して)	小学校						最終的な受益者	小学生・教職員			
事業目的(～という状態にするために)	・施設設備等の改修工事を行い、良好な学校生活を過ごせるようにする。											
具体的な事業内容(～を行う)	・学校施設の改修、設備の交換等を行う。											
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③ 実 績 ・ 成 果	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)					
	事業の実績	1	工事請負契約数	件	29	20	21	20				
		2	委託件数	件	1	0	1	2				
	事業の効果	1	施設設備の改修工事の実施	千円	53,311	19,401	25,547	72,330				
		2	委託の実施	千円	491	0	1,540	2,958				
	事業効果に関する外部要因	・施設設備の老朽化に伴い実施しなければならない改修工事箇所が増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。										
事業効果の総合分析(達成できたこと)	・危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高いものから改修、整備を行い良好な学校環境の整備に務めた。 ・限りある予算の中で、施設の維持管理工事を発注した。 ・R1の主な工事として、八街市立小学校防火シャッター改修工事等を実施した。 ・R2の主な工事として、笹引小学校屋内運動場床改修工事を実施した。											
④ 事 業 コ ス ト	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	53,921	19,401	27,582	75,288					
	決算額		千円	53,803	19,401	27,087						
		特定・その他財源()	千円	24,450		12,600						
		一般財源	千円	29,353	19,401	14,487						
2年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			委託料	1,540								
			工事請負費	25,547								

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	施設の老朽化に伴い、学校からの改修要望等は多くなっていることから、学校施設の適正な維持管理をする必要がある。		A
		市の関与は妥当ですか	a	市立学校であり、市が行う事業である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	必要不可欠な改修工事等において、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施しており、おおむね要望に対応することができた。		B
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	積算時の経済設計にあたっては、ランニングコスト等を考慮し、効率的な改修に努めており、改善の余地は無い。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性に配慮し、学校間の調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	学校施設の適正な維持管理を恒久的に続けていかなければならない。施設の老朽化により修繕要望は増えているが、緊急性に配慮しつつおおむね適切な維持管理がされている。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	3年度における取組のPRと方向性	<ul style="list-style-type: none"> 施設維持管理工事(6,000千円)は、緊急性・危険性・必要性を考慮して実施していく。 枠外要求の交進小学校浄化槽改修工事等は、適時適切な工事を実施していく。 				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向				
		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	<ul style="list-style-type: none"> 施設設備の老朽化が進んでいることから、計画的な改修を実施するとともに、大規模な改修工事も検討し、学習環境の整備を図る必要がある。 			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		小学校管理諸費						所管課等	部 局	教育委員会	
									課等・班	教育総務課・庶務班	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1442	内線 2353
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp	
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実								
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (学校配当)						実施根拠	八街市小学校設置条例		
直接の対象者(〜に対して)	全市立小学校児童						最終的な受益者	市民			
事業目的(〜という状態にするために)	・小学校運営に必要な需用費等の経費管理を行う。										
具体的な事業内容(〜を行う)	・小学校事務用消耗品・光熱水費・通信運搬費等の管理、支払い等に関する事務を行う。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)				
	事業の実績	1	需用費(消耗品費)9校分	千円	12,846	12,616	11,265	10,437			
		2	需用費(光熱水費)9校分	千円	38,844	38,032	42,471	43,818			
		3	役務費(通信運搬費)9校分	千円	3,376	3,551	3,536	3,559			
	事業の効果										
事業効果に関する外部要因											
事業効果の総合分析(達成できたこと)		・施設・設備等の維持管理を含め、円滑な学校運営に寄与した。									
④ 事業コスト	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	72,751	79,469	69,800	65,501				
	決算額			千円	72,275	72,999	63,270				
		特定・その他財源()	千円	1,085	1,254						
	一般財源	千円	71,190	71,745	63,270						
2年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		旅費	144	使用料及び賃借料	1,878						
		需用費	56,715	原材料費	92						
		役務費	4,441								

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	教育に対する関心の高まりもあり、学校運営を行ううえで必要な施設・設備等の経費である。		A
		市の関与は妥当ですか	a	学校運営に必要な不可欠な需用費・公共料金等を確保しなければならない。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	必要な経費を確保することにより、学校生活を安定させることができた。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	学校現場において、経費の節減に努めるように依頼をし、実施してもらっている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	義務教育を受けるもの全てが対象である。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	施設の老朽化に伴い、需用費等の必要な経費が増加する傾向にある。また、電気料金・燃料費等の価格の変動に伴い必要額を把握することが難しい。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	3年度における取組のPRと方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・学校を運営するうえで、必要な経費のみを計上し、更なる経費の節減に努める。 ・複写機のリースを学校以外の施設も含め、まとめて契約することにより経費削減に努める。 				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 <ul style="list-style-type: none"> ・学校を円滑に運営できるよう、必要な経費の確保に努める。 				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		小学校施設維持管理費					所管課等	部 局	教育委員会		
								課等・班	教育総務課・施設班		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					電話番号	443-1442	内線	2353
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街					E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp		
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実								
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	学校施設の整備			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針			
	直接の対象者 (～に対して)	小学校					最終的な受益者	小学生・教職員			
事業目的 (～という状態にするために)	・施設設備等の維持管理を適正に行い、良好な学校生活を過ごせるようにする。										
具体的な事業内容 (～を行う)	・学校施設の修繕、樹木の伐採、簡易専用水道管理状況検査、浄化槽法定検査等の実施 ・校舎警備、浄化槽維持管理、貯水槽維持管理、電気工作物保守点検、給食用エレベーター・リフトの保守点検、消防設備保守点検、プール循環浄化濾過装置保守点検、樹木害虫駆除業務等の業務委託、特殊建築物定期調査業務委託、消火器・AED・複写機の賃借を行う。 ・学校管理用消耗品及び備品の購入										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)				
	事業の実績	1	学校施設の保守管理業務委託契約数	件	32	32	33	33			
		2	学校施設の修繕契約数	件	71	84	81	80			
		3	各種検査、調査等の契約数	件	4	3	3	3			
		4	学校管理用備品(消耗品を含む)購入契約数	件	16	17	20	20			
	事業の効果	1	業務委託による適正な維持管理の実施	千円	21,164	28,599	24,023	35,953			
		2	修繕等による施設設備の適切な機能の維持確保	千円	4,888	5,393	5,394	5,400			
		3	各種検査、調査等の実施	千円	490	353	457	464			
		4	管理用備品(消耗品を含む)の購入	千円	3,255	3,742	4,242	3,916			
	事業効果に関する外部要因	・施設設備の老朽化に伴う修繕等の増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。									
事業効果の総合分析 (達成できたこと)	・危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高いものから修繕、整備に努めた。 ・物品についても耐用年数・老朽化度を考慮し、必要なものを購入した。 ・平成23年度から引き続き、東日本大震災に伴う、福島第一原発の事故による大気中の放射線量測定を実施した。										
④ 事業コスト	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)				
	(最終)予算額		千円		30,162	42,531	34,166	45,733			
	決算額		千円		29,797	38,087	34,117				
		特定・その他財源()	千円								
		一般財源	千円		29,797	38,087	34,117				
2年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		需用費	5,943	使用料及び賃借料	6,286						
		役務費	457	備品購入費	3,693						
		委託料	17,737								

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	施設の経年劣化により、学校からの要望は多く、学校施設の適正な維持管理のため必要である。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	市立学校であり、市が実施する事業である。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	必要不可欠な修繕、定期的な部品の交換・補修などにおいて、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施し、おおむね要望に対応することができた。		B			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	同種の業務などについては、幼・小・中学校で一括して発注し経費の削減を図るとともに、軽易な修繕については小規模工事登録業者へ発注し、地元業者育成にも配慮しつつ効率的な執行を図っている。		A			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性に配慮し、学校間の調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	施設の経年による修繕等必要な箇所は増えているが、緊急性を考慮しおおむね適正な維持管理が実施されている。		A			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	3年度における取組のPRと方向性	<ul style="list-style-type: none"> 技術の進歩にあわせ、ランニングコストを削減できる新製品の導入などを検討し、経費の節減を図る。(例:照明器具をLEDなどの省エネ型に交換する。又は改修工事の際、全面的な更新をするなど。) 消火器(全校)の賃借については、平成27年度から8年間のリース、またAED(全校)令和元年から6年間のリースとし、点検の効率化及び経費の削減を図る。 小学校の便所が老朽化しているため、トイレ洗浄殺菌装置等を賃貸借し、衛生面及び環境面の向上を図る。 平成23年5月から大気中の放射線量を測定しているが、引き続き令和3年度も測定を行う。 							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		<ul style="list-style-type: none"> 児童の安心安全な学校生活を確保するため、学校施設の定期的な保守点検、修繕、機器の交換等は必要不可欠であり、限られた予算の中で、効率的で先進的な維持管理を図ってまいりたい。 							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		小学校体育館トイレ改修事業費						所管課等	部 局	教育委員会		
									課等・班	教育総務課・施設班		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1442	内線	2353
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp		
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実									
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	学校施設の整備				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針			
	直接の対象者(～に対して)	小学校						最終的な受益者	小学生・教職員			
事業目的(～という状態にするために)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設設備等の改修工事を行い、良好な学校生活を過ごせるようにする。 ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、災害時の避難所となる小学校体育館のトイレ改修を推進する。 											
具体的な事業内容(～を行う)	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校体育館トイレの改修、設備の交換等を行う。 											
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)					
	事業の実績	1	工事請負契約数	件				3				
		2	業務委託契約数	件			1	1				
	事業の効果	1	施設設備の改修工事の実施	千円				70,000				
		2	設計及び監理業務の実施	千円			4,697	6,200				
		3										
事業効果に関する外部要因		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、災害時の避難所となる小学校体育館のトイレ改修を推進する。 										
事業効果の総合分析(達成できたこと)		<ul style="list-style-type: none"> ・小学校7校の体育館トイレ改修工事の設計業務を行った。(二州小 沖分校 笹引小 交進小 川上小 東小 北小) 										
④ 事業コスト	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)					
	(最終)予算額		千円			80,900	76,200					
	決算額			千円			4,697					
		特定・その他財源()	千円			4,600						
一般財源		千円			97							
2年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			委託料 4,697 工事請負費 ※予算残額は翌年度繰越 76,200									

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由					二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	施設の経年劣化により、学校からの改修要望が多く、災害時の避難所としての役割からも必要である。					A
		市の関与は妥当ですか	a	市立学校であり、市が行う事業である。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	避難所としての機能向上、児童の生活環境の改善を進めることが出来た。					A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	積算に基づく発注を実施しているため、改善の余地は余りない。なお、事業全体の整備方法、方針等は検討した。					A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	避難所の機能向上、児童の生活環境を確保するもので公平である。				A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	各種の要望も出ており、本事業の必要性、有効性は大変高いと考える。よって早々に全小学校の整備を進める必要がある。					A
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい			評価者 1			A	
					評価者 2			A	
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	3年度における取組のPRと方向性	・小学校7校の体育館トイレ改修工事を行う。 (二州小 沖分校 笹引小 交進小 川上小 東小 北小)							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を聞いたうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要													
事務事業名		中学校施設整備事業費						所管課等	部 局	教育委員会			
									課等・班	教育総務課・施設班			
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							電話番号	443-1442	内線	2353
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp		
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実										
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	学校施設の整備					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針				
	直接の対象者(～に対して)	中学校						最終的な受益者	中学生・教職員				
事業目的(～という状態にするために)	・施設設備等の改修工事を行い、良好な学校生活を過ごせるようにする。												
具体的な事業内容(～を行う)	・学校施設の改修、設備の交換等を行う。												
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目											
Do 事務事業の実施													
③ 実績・成果	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)						
	事業の実績	1	工事請負契約数	件	14	8	15	10					
	事業の効果	1	施設設備の改修工事の実施	千円	15,326	7,820	12,730	20,489					
	事業効果に関する外部要因	・施設設備の老朽化に伴い実施しなければならない改修工事箇所が増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。											
事業効果の総合分析(達成できたこと)	<ul style="list-style-type: none"> ・危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高いものから改修、整備を行い良好な学校環境の整備に務めた。 ・限りある予算の中で、施設の維持管理工事を発注した。 ・R1の主な工事として、八街市立中学校防火シャッター改修工事等を実施した。 ・R2の主な工事として、八街中学校特別教室棟屋上防水改修工事を実施した。 												
④ 事業コスト	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)						
	(最終)予算額		千円		21,249	7,885	12,731	20,489					
	決算額		千円		15,326	7,820	12,730						
		特定・その他財源()	千円		4,264								
		一般財源	千円		11,062	7,820	12,730						
2年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			工事請負費 12,730										

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	施設の老朽化に伴い、学校からの改修要望等は多くなっていることから、学校施設の適正な維持管理をする必要がある。		A
		市の関与は妥当ですか	a	市立学校であり、市が行う事業である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	必要不可欠な改修工事等において、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施しており、おおむね要望に対応することができた。		B
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	積算時の経済設計にあたっては、ランニングコスト等を考慮し、効率的な改修に努めており、改善の余地はない。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性に配慮し、学校間の調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	学校施設の適正な維持管理を恒久的に続けていかなければならない。施設の老朽化により修繕要望は増えているが、緊急性に配慮しつつおおむね適切な維持管理がされている。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	3年度における取組のPRと方向性	<ul style="list-style-type: none"> 施設維持管理工事(4,000千円)は、緊急性・危険性・必要性を考慮して実施していく。 枠外要求の工事は適時適切な工事を実施していく。 				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向				
		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	<ul style="list-style-type: none"> 施設設備の老朽化が進んでいることから、計画的な改修を実施するとともに、大規模な改修工事も検討し、学習環境の整備を図る必要がある。 			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		中学校管理諸費						所 管 課 等	部 局	教育委員会		
									課等・班	教育総務課・庶務班		
									電話番号	443-1442	内線	2353
									E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp		
①事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた									
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街									
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実									
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (学校配当)						実施根拠	八街市中学校設置条例			
	直接の対象者(〜に対して)	全市立中学校生徒						最終的な受益者	市民			
事業目的(〜という状態にするために)	・中学校運営に必要な需用費等の経費管理を行う。											
具体的な事業内容(〜を行う)	・中学校事務用消耗品・光熱水費・通信運搬費等の管理、支払い等に関する事務を行う。											
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③実績・成果	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)					
	事業の実績	1	需用費(消耗品費)4校分	千円	9,014	8,944	7,928	7,469				
		2	需用費(光熱水費)4校分	千円	27,003	26,087	21,721	30,067				
		3	役務費(通信運搬費)4校分	千円	1,742	1,683	1,778	1,700				
	事業の効果											
事業効果に関する外部要因												
事業効果の総合分析(達成できたこと)		・施設・設備等の維持管理を含め、円滑な学校運営に寄与した。										
④事業コスト	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)					
	(最終)予算額		千円		51,860	51,989	49,998	44,761				
	決算額			千円		50,951	50,765	36,123				
		特定・その他財源()	千円		781	763	0					
	一般財源		千円		50,170	50,002	36,123					
2年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		旅費	48	使用料及び賃借料	878							
		需用費	32,614	原材料費	111							
		役務費	2,472									

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	教育に対する関心の高まりもあり、学校運営を行ううえで必要な施設・設備等の経費である。		A
		市の関与は妥当ですか	a	学校運営に必要な不可欠な需用費・公共料金等を確保しなければならないため。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	必要な経費を確保することにより、学校生活を安定させることができた。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	学校現場において、経費の節減に努めるように依頼をし、実施してもらっている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	義務教育を受けるもの全てが対象である。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	施設の老朽化に伴い、需用費等の必要な経費が増加する傾向にある。また、電気料金・燃料費等の価格の変動に伴い必要額を把握することが難しい。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	3年度における取組のPRと方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・学校を運営するうえで、必要な経費のみを計上し、更なる経費の節減に努める。 ・複写機のリースを学校以外の施設も含め、まとめて契約することにより経費削減に努める。 				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了			<ul style="list-style-type: none"> ・学校を円滑に運営できるよう、必要な経費の確保に努める。 	

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		中学校施設維持管理費						所管課等	部 局	教育委員会		
									課等・班	教育総務課・施設班		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1442	内線	2353
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp		
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実									
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	学校施設の整備				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針			
	直接の対象者 (～に対して)	中学校						最終的な受益者	中学生・教職員			
事業目的 (～という状態にするために)	・施設設備等の維持管理を適正に行い、良好な学校生活を過ごせるようにする。											
具体的な事業内容 (～を行う)	・学校施設の修繕、樹木の伐採、簡易専用水道管理状況検査、浄化槽法定検査等の実施。 ・校舎警備、浄化槽維持管理、貯水槽維持管理、電気工作物保守点検、給食用エレベーター・リフトの保守点検、消防設備保守点検、プール循環浄化濾過装置保守点検、樹木害虫駆除業務等の業務委託、特殊建築物定期調査業務委託、校務用コンピュータ保守管理業務委託、消火器・AED・複写機の賃借を行う。 ・学校管理用消耗品及び備品の購入。											
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)					
	事業の実績	1	学校施設の保守管理業務委託契約数	件	22	18	23	23				
		2	学校施設の修繕契約数	件	52	58	70	60				
		3	各種検査、調査等の契約数	件	2	2	2	2				
		4	学校管理用備品(消耗品を含む)購入契約数	件	11	9	5	4				
	事業の効果	1	業務委託による適正な維持管理の実施	千円	8,578	6,939	9,230	15,308				
		2	修繕等による施設設備の適切な機能の維持確保	千円	4,481	4,457	4,440	4,500				
		3	各種検査、調査等の実施	千円	61	62	62	65				
		4	管理用備品(消耗品を含む)の購入	千円	1,743	4,273	1,320	2,010				
	事業効果に関する外部要因	・施設設備の老朽化に伴う修繕等の増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。										
事業効果の総合分析 (達成できたこと)	・危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高いものから修繕、整備に努めた。 ・物品についても耐用年数・老朽化度を考慮し、必要なものを購入した。 ・平成23年度から引き続き、東日本大震災に伴う、福島第一原発の事故による大気中の放射線量測定を実施した。											
④ 事業コスト	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)					
	(最終)予算額		千円		15,029	17,648	16,246	21,883				
	決算額		千円		14,863	15,731	15,052					
		特定・その他財源()	千円									
		一般財源	千円		14,863	15,731	15,052					
2年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		需用費	4,514	使用料及び賃借料	329							
		役務費	62	原材料費	193							
		委託料	8,900	備品購入費	1,054							

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学校施設の経年劣化などにより学校からの要望は多くなっている。		A
		市の関与は妥当ですか	a	市立学校であり、市が行う事業である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	必要不可欠な修繕、定期的な部品の交換・補修などにおいて、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施し、おおむね要望に対応することができた。		B
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	同種の業務などについては、幼・小・中学校で一括して発注し経費を削減を図るとともに、軽易な修繕については小規模工事登録業者へ発注し、地元業者育成にも配慮しつつ効率的な執行を図っている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性に配慮し、学校間の調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	施設の経年による修繕等必要な箇所は増えているが、緊急性を考慮しおおむね適正な維持管理が実施されている。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	3年度における取組のPRと方向性	<ul style="list-style-type: none"> 技術の進歩にあわせ、ランニングコストを削減できる新製品の導入などを行い、経費の節減を図る。(例:照明器具をLEDなどの省エネ型に交換する。又は改修工事の際、全面的な更新をするなど。) 消火器(全校)については、平成27年度から8年間、AED(全校)は平成30年度から5年間のリースとし、点検の効率化及び経費の削減を図る。 平成23年5月から大気中の放射線量を測定しているが、引き続き令和2年度も測定を行う。 				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向				
		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の安心安全な学校生活を確保するため、学校施設の定期的な保守点検、修繕、機器の交換等は必要不可欠であり、限られた予算の中で、効率的で先進的な維持管理を図ってまいりたい。 			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		中学校体育館トイレ改修事業費						所管課等	部 局	教育委員会		
									課等・班	教育総務課・施設班		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1442	内線	2353
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp		
		具体的施策	学校教育の充実									
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	学校施設の整備				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針			
	直接の対象者 (〜に対して)	中学校						最終的な受益者	中学生・教職員			
事業目的 (〜という状態にするために)	・施設設備等の改修工事を行い、良好な学校生活を過ごせるようにする。 ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、災害時の避難所となる中学校体育館のトイレ改修を推進する。											
具体的な事業内容 (〜を行う)	・中学校体育館トイレの改修、設備の交換等を行う。											
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)					
	事業の実績	1	工事請負契約数	件			1	1				
		2	業務委託契約数	件			1	1				
	事業の効果	1	施設設備の改修工事の実施	千円			1,276	19,724				
		2	設計及び監理業務の実施	千円			2,013	1,100				
	事業効果に関する外部要因		・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、災害時の避難所となる中学校体育館のトイレ改修を推進する。									
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		・八街中央中学校の体育館のトイレ改修工事を行った。 ・八街北中学校の体育館トイレ改修工事の設計業務を行った。										
④ 事業コスト	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)					
	(最終)予算額		千円			24,200	20,824					
	決算額			千円			3,289					
		特定・その他財源()	千円			3,200						
	一般財源		千円			89						
2年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			委託料	2,013								
			工事請負費	1,276								
			※予算残額は翌年度繰越 20,824									

Check 事務事業の評価										
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由				二次評価		
	必要性	市民からのニーズは高いですか		a	施設の経年劣化により、学校からの改修要望が多く、災害時の避難所としての役割からも必要である。				A	
		市の関与は妥当ですか		a	市立学校であり、市が行う事業である。					
	有効性	期待された効果は得られていますか		a	避難所としての機能向上、生徒の生活環境の改善を進めることが出来た。				A	
	効率性	事業の効率性を高められますか		a	積算に基づく発注を実施しているため、改善の余地は余りない。なお、事業全体の整備方法、方針等は検討した。				A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか		a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	避難所の機能向上、生徒の生活環境を確保するもので公平である。			A	
	総括評価	総括及び事業実施上の課題		a	各種の要望も出ており、本事業の必要性、有効性は大変高いと考える。よって早々に全小学校の整備を進める必要がある。				A	
外部評価										
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい				評価者 1		A	
							評価者 2		A	
Action 今後の事務事業の方向										
⑥	3年度における取組のPRと方向性		・八街北中学校の体育館トイレ改修工事を行う。							
	事務事業の今後の方向性		取り組み方向							
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
		新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止	完了	

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を聞いたうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要													
事務事業名		中学校施設改修事業費						部 局		教育委員会			
当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015 ①事務事業の概要		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						課等・班		教育総務課・施設班	
		施策の大綱		五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						電話番号		443-1442 内線 2353	
		具体的施策		学校教育の充実						E-mail		kvousou@city.yachimata.lg.jp	
		実施計画		開始	2020	終了	2024	主な計画事業		学校施設の整備			
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠		公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針			
直接の対象者 (～に対して)		中学校						最終的な受益者		中学生・教職員			
事業目的 (～という状態にするために)		・老朽化した学校施設・設備について、耐震化を含め計画的な改修を行い、生徒の安全確保および学校生活環境の向上を図る。											
具体的な事業内容 (～を行う)		・八街中学校の避難階段設置工事等と監理業務を行う。(H28,29) ・八街北中学校の空調設備改修工事を行う。(H29) ・八街中学校屋内運動場における天井等の非構造部材耐震化の調査設計業務委託を行う。(H30) ・調査に基づき、八街中学校屋内運動場の非構造部材耐震改修工事を行う。(R1) ・八街南中学校屋内運動場の屋根、床改修等の調査設計業務を行う。(R1) ・八街南中学校の屋内運動場における屋根、アリーナ床、便所等の大規模改造工事を行う。(R2)											
② 市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目											
Do 事務事業の実施													
③ 実績・成果		区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)					
		事業の実績		1 工事請負契約数	件	0	2	1					
				2 業務委託契約数	件	1	4	2	1				
		事業の効果		1 施設設備の改修工事の実施	千円	0	229,757	113,289					
		2 設計及び監理業務の実施	千円	1,755	8,626	1,559	2,701						
		3 工事に伴う消耗品	千円	0	0	190							
事業効果に関する外部要因		・避難所である屋内運動場の天井等の非構造部材について、早期に耐震化を完了するよう文部科学省より強く要望されている。											
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		・八街南中学校の屋内運動場における天井等の非構造部材耐震改修工事を実施した。(H28) ・八街中学校の避難階段設置工事等を実施した。(H28,29) ・八街北中学校空調設備改修工事を実施した(H29) ・八街中学校の屋内運動場における天井等の非構造部材耐震改修工事を実施した。(R1) ・八街南中学校の屋内運動場における屋根、アリーナ床、便所等の大規模改造工事を実施した。(R2)											
④ 事業コスト		区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)					
		(最終)予算額		千円		4,200	292,768	115,229	2,701				
		決算額		千円		1,755	238,383	115,039					
				特定・その他財源()	千円		0	237,071	94,479				
		一般財源	千円		1,755	1,312	20,560						
2年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		需用費		190									
		委託料		1,559									
		工事請負費		113,289									

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	施設の老朽化に伴い、耐震性のない校舎等があり生徒の安全を確保するため、早急に耐震改修を実施する必要がある。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	市立学校であり、市が行う事業である。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	・耐震改修工事を実施することにより、生徒の安全が確保できる。 ・浄化槽改修工事を実施することにより、排水基準を確保できる。		A			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	積算時の経済設計にあたっては、ランニングコスト等を考慮し、効率的な改修に努めており、改善の余地はあまり無い。		A			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	耐震性のない校舎を改修するもので公平である。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	・施設の老朽化により、耐震性のない校舎等や非構造部材は早急に耐震改修し、生徒の安全を確保しなければならない。		A			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	3年度における取組のPRと方向性	・八街北中学校の屋内運動場における非構造部材耐震改修等工事設計業務の調査設計を行う。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		・屋内運動場の非構造部材の耐震改修等工事は、生徒の安全確保と避難所という観点から早急に実施することが重要である。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を因ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		幼稚園施設整備事業費						所 管 課 等	部 局	教育委員会		
									課等・班	教育総務課・施設班		
① 事務 事業 の 概 要	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1442	内線	2353
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp		
		具体的施策	幼児教育の充実									
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	幼稚園教育の充実				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針			
	直接の対象者(～に対して)	幼稚園						最終的な受益者	幼稚園児・教職員			
事業目的(～という状態にするために)	・施設設備等の維持管理を適正に行い、良好な幼稚園生活を過ごせるようにする。											
具体的な事業内容(～を行う)	・幼稚園施設の改修工事等を行う。											
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③ 実績 ・ 成果	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)					
	事業の実績	1	工事請負契約数	件	2	2	2	1				
		2										
	事業の効果	1	施設設備の改修工事の実施	千円	2,835	831	533	3,278				
		2										
	事業効果に関する外部要因	・施設設備の老朽化に伴い実施しなければならない改修工事箇所が増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。										
事業効果の総合分析(達成できたこと)	・危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高い改修工事等の実施に努めた。											
④ 事業 コスト	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)					
	(最終)予算額		千円		2,857	832	534	3,278				
	決算額		千円		2,835	831	533					
		特定・その他財源()	千円									
		一般財源	千円		2,835	831	533					
2年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			工事請負費 533									

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	園施設の経年劣化などにより、幼稚園からの要望は多くなっている。		A
		市の関与は妥当ですか	a	市立幼稚園であり、市が行う事業である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	必要不可欠な改修工事などにおいて、優先度の高い改修工事に対応することができた。		B
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	積算時の経済設計にあたっては、ランニングコスト等を考慮し、効率的な改修に努めており、改善の余地はない。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性に配慮し、学校間の調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	幼稚園施設の適正な維持管理を恒久的に続けていかなければならない。施設の老朽化により修繕要望は増えているが、緊急性に配慮しつつおおむね適切な維持管理がされている。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	3年度における取組のPRと方向性	朝陽幼稚園屋根改修工事は、適時適切な工事を実施していく。				
	事務事業の今後の方向性	<div style="text-align: center;">取り組み方向</div> <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了				
		・施設設備の老朽化が進んでいることから、計画的な改修を実施するとともに、大規模な改修工事も検討し、幼稚園環境の整備を図る必要がある。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を問うたうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名		幼稚園諸費						所管課等	部 局	教育委員会
① 事務事業の概要		当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						
		(八街市総合計画) 2015	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	幼稚園教育の充実		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (幼稚園配当)	実施根拠	八街市幼稚園設置条例					
直接の対象者(〜に対して)	全市立幼稚園園児						最終的な受益者	市民		
事業目的(〜という状態にするために)	・幼稚園運営に必要な需用費等の経費管理を行う。									
具体的な事業内容(〜を行う)	・幼稚園事務用消耗品・光熱水費・通信運搬費等の管理、支払い等に関する事務を行う。									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)			
	事業の実績	1	需用費(消耗品費)3園分	千円	1,404	1,307	1,203	1,097		
		2	需用費(光熱水費)3園分	千円	3,928	4,041	4,052	3,925		
		3	役務費(通信運搬費)3園分	千円	565	569	574	575		
	事業の効果									
事業効果に関する外部要因										
	事業効果の総合分析(達成できたこと)	・施設・設備等の維持管理を含め、円滑な幼稚園運営に寄与した。								
④ 事業コスト		区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)		
	(最終)予算額		千円	16,941	24,023	7,195	6,689			
	決算額			千円	16,210	17,913	6,753			
		特定・その他財源()	千円	492	727	0				
	一般財源	千円	15,718	17,186	6,753					
2年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報償費	48	役務費	676	負担金補助金及び交付金	49			
		旅費	87	使用料及び賃借料	170					
		需用費	5,688	原材料費	35					

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	教育に対する関心の高まりもあり、幼稚園運営をするうえで必要な施設・設備等の経費である。		A
		市の関与は妥当ですか	a	幼稚園運営に必要な不可欠な需用費・公共料金等を確保しなければならないため。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	必要な経費を確保することにより、幼稚園生活を安定させることができた。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	幼稚園現場において、経費の節減に努めるように依頼をし、実施してもらっている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	幼稚園教育を受けるもの全てが対象である。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	施設の老朽化に伴い、需用費等の必要な経費が増加する傾向にある。また、電気料金・燃料費等の価格の変動に伴い必要額を把握することが難しい。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	3年度における取組のPRと方向性	・幼稚園を運営するうえで、必要な経費のみを計上し、更なる経費の節減に努める。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 ・幼稚園を円滑に運営できるよう、必要な経費の確保に努める。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		幼稚園施設維持管理費						所 管 課 等	部 局	教育委員会	
									課等・班	教育総務課・施設班	
①事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1442	内線 2353
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp	
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	幼児教育の充実								
	実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	幼稚園教育の充実				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針		
直接の対象者(〜に対して)	幼稚園						最終的な受益者	幼稚園児・教職員			
事業目的(〜という状態にするために)	・施設設備等の維持管理を適正に行い、良好な幼稚園生活を過ごせるようにする。										
具体的な事業内容(〜を行う)	・施設の修繕、樹木の伐採、浄化槽法定検査等を実施する。 ・園舎警備、浄化槽維持管理、受水槽維持管理、消防設備保守点検、樹木害虫駆除業務、遊具点検業務の委託業務及び送迎用駐車場・AED・複写機の賃借を行う。 ・幼稚園管理用消耗品及び備品の購入。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③実績・成果	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)				
	事業の実績	1	幼稚園施設の保守管理業務委託契約数	件	15	15	14	14			
		2	幼稚園施設の修繕契約数	件	20	21	28	25			
		3	各種検査、調査等の契約数	件	1	1	1	1			
		4	幼稚園管理用備品(消耗品を含む)購入契約数	件	6	1	4	4			
	事業の効果	1	業務委託による適正な維持管理の実施	千円	3,144	4,888	2,983	4,172			
		2	修繕等による施設設備の適切な機能の維持確保	千円	1,188	1,199	1,186	1,200			
		3	各種検査、調査等の実施	千円	22	22	22	22			
		4	管理用備品(消耗品を含む)の購入	千円	764	521	630	489			
	事業効果に関する外部要因	・施設設備の老朽化に伴う修繕等の増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。									
事業効果の総合分析(達成できたこと)	・危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高いものから修繕、整備に努めた。 ・物品についても耐用年数・老朽化度を考慮し、必要なものを購入した。 ・平成23年度から引き続き、東日本大震災に伴う、福島第一原発の事故による大気中の放射線量測定を実施した。										
④事業コスト	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)				
	(最終)予算額		千円		5,451	6,891	5,442	5,883			
	決算額		千円		5,118	6,629	4,821				
		特定・その他財源()	千円								
		一般財源	千円		5,118	6,629	4,821				
2年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		需用費	1,186	使用料及び賃借料		1,201					
		役務費	22	備品購入費		630					
		委託料	1,782								

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由					二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	園施設の経年劣化などにより、幼稚園からの要望は多くなっている。					A
		市の関与は妥当ですか	a	市立幼稚園であり、市が行う事業である。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	必要不可欠な修繕、定期的な部品の交換・補修などにおいて、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施し、おおむね要望に対応することができた。					B
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	同種の業務などについては、幼・小・中学校で一括して発注し経費を削減を図るとともに、軽易な修繕については小規模工事登録業者へ発注し、地元業者育成にも配慮しつつ効率的な執行を図っている。					A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性に配慮し、幼稚園間の調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。				A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	施設の経年による修繕等必要な箇所は増えているが、緊急性を考慮しおおむね適正な維持管理が実施されている。					A
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい					評価者 1	A	
							評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	3年度における取組のPRと方向性	<ul style="list-style-type: none"> 技術の進歩にあわせ、ランニングコストを削減できる新製品の導入などを行い、経費の節減を図る。(例:照明器具をLEDなどの省エネ型に交換する。又は改修工事の際、全面的な更新をするなど。) 平成23年5月から大気中の放射線量を測定しているが、引き続き令和年度も測定を行う。 							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		<ul style="list-style-type: none"> 園児の安心安全な園生活を確保するため、施設の定期的な保守点検、修繕、機器の交換等は必要不可欠であり、限られた予算の中で、効率的で先進的な維持管理を図ってまいります。 							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
① 事務事業の概要	事務事業名	教育指導諸費						所管課等	部 局	教育委員会		
	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						課等・班	学校教育課・指導室		
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						電話番号	443-1446	内線 2365	
		具体的施策	学校教育の充実						E-mail	gakkvo@city.yachimata.lg.jp		
	実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	教育支援センターの充実					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	学校教育法 八街市一般職の臨時職員等の任用等に関する規則			
	直接の対象者 (~に対して)	幼稚園・小・中学校教職員						最終的な受益者	市民			
	事業目的 (~という状態にするために)	充実した学校生活や学習支援を実現し、より開かれた園や学校づくりを推進していくために、カウンセラーを雇用し、相談体制の充実を図るとともに、学校評議員制度を活かした意見聴取や情報交換等を各園、各学校で展開する。										
	具体的な事業内容 (~を行う)	カウンセラーによるカウンセリングを行う。 カウンセラーの小学校への巡回相談を行う。 カウンセラーによる学校職員に対する研修会を行う。 学校評議員会議の開催										
	②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)					
	事業の実績	カウンセラーによるカウンセリング		件数	131	187	233	250				
		カウンセラーの小学校巡回相談		回	10	34	25	40				
		学校評議員会議の開催		回	3	3	2	3				
	事業の効果											
事業効果に関する外部要因	H25年度からカウンセラーの小学校巡回相談実施 R元年度八街市教育センター「教育相談研修」にて講師として活用											
事業効果の総合分析 (達成できたこと)	カウンセリング件数は年々増加している。また、巡回相談等を通して課題の早期発見に努めると同時に、学校、学校訪問相談員、SSWにつないでいる。また、八街市教育センターの研修でカウンセラーが講師を務め、学校職員等に広く周知したことで活用の幅が広がった。相談件数が徐々に増え、課題を抱えている児童・生徒・保護者の状態は好転している。											
④ 事業コスト	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	56,328	58,911	3,903	3,614					
	決算額			千円	55,026	56,771	3,446					
		特定・その他財源()		千円	5,419	5,538	0					
	一般財源		千円	49,067	51,233	3,446						
2年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			報酬	0	需用費	1,625	備品購入費	0				
			報償費	288	役務費	91	負担金	1,294				
			旅費	114	使用料及び賃借料	0	公課費	34				

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	各学校からのカウンセリングの問い合わせや電話による教育相談の状況や、学校評議員による学校運営への提言が開かれた学校という安心感を生み、市民からのニーズは高い。		A
		市の関与は妥当ですか	a	カウンセリングについては学校では相談しづらいケースもあり、学校評議員による学校運営への提言は客観性があり、不可欠である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	カウンセリングについては継続した関わりの中で、児童生徒の安定を目指している。また、学校評議員による学校運営への提言によって望ましい変容を生み出している。		B
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	カウンセリングに関しては、即効性があるわけではないが、学校や関係諸機関と支援の方向性を連携することにより、効率を高めるよう努めている。学校評議員による活動は、限られた回数の中で目標が達成できるよう努めている。		B
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内の教育相談体制や教育条件、環境の整備の向上に結び付く事業であり、公平性に問題はない。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	b	学校運営を向上させていくために、幼児児童生徒の個々のニーズに対応するため、さらに効率性に努めている。		B
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	B	
				評価者 2	B	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	3年度における取組のPRと方向性	平成28年度からカウンセラーに関する業務は、教育支援センター費へ移行。学校評議員委員の提言については、学校運営に更に生かしていくように努めていく。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 カウンセリングのニーズは、年々高くなっている。各家庭の環境も様々であり、心理的な側面とともに福祉的側面での関わりも必要である。教育委員会では、小学校に新たに校内適応指導教室を設置し、学習指導及び相談体制の構築に更に努めていく。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を因ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名		外国語指導助手事業費						所管課等	部 局	教育委員会
① 事務事業の概要		当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						
		(八街市総合計画) 2015	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	英語教育の充実		
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()	実施根拠	学校教育法施行規則 学習指導要領					
直接の対象者 (～に対して)	市内幼稚園・保育園・小学校・中学校の全幼児・園児・児童・生徒が対象						最終的な受益者	市内幼稚園・保育園・小学校・中学校の全幼児・園児・児童・生徒		
事業目的 (～という状態にするために)	八街市の幼児・園児・児童・生徒の国際理解教育の進展、小学校低学年における異文化理解の進展、小学校高学年における小学校外国語活動の推進、中学校における英語の基礎力の確立を図る。									
具体的な事業内容 (～を行う)	市内各小中学校へのALTの派遣 市内各幼稚園、保育園の行事への派遣 市内国際交流イベントへの参画 市内各校の異文化教育のための環境整備									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)			
	事業の実績	小・中学校へのALTの派遣	人	9	9	9	9			
		各幼稚園への派遣	回	3	3	3	3			
		各保育園への派遣	回	3	3	3	3			
	事業の効果	英語に関する興味関心の高まり								
		異文化に対する理解の深まり								
		英語の能力の向上								
事業効果に関する外部要因										
事業効果の総合分析 (達成できたこと)	ALTの授業を実施することにより、子どもたちの英語の質的な向上やコミュニケーション能力が高まった(各種テストによるスピーキング得点の向上が確認できた)。									
④ 事業コスト	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	37,390	38,017	41,229	44,000			
	決算額	特定・その他財源()	千円	37,389	38,017	41,228				
		一般財源	千円	37,389	38,017	41,228				
	2年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		委託料	41,228						

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	2017年4月から、小学校3～6年生の英語授業の教科化の流れがスタートし、2020年からは小学校5～6年生が完全に教科化される。市民の英語授業への期待はますます高まっている。		A
		市の関与は妥当ですか	a	外国語活動及び英語の授業は学習指導要領にも記載され必修となっている。ALTについて他市町では直接雇用をしているところもあり、市の関与は妥当であると考えられる。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	英語での会話力やコミュニケーション能力が高まっている。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	民間会社への業務委託を行っている。契約金額も妥当である。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	各学校へ均等に派遣できるように配置計画をしているので、受益が偏ることはない。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	小学校における英語の授業導入から4年目を迎える。外国語活動、特に英語学習への関心は新聞等でも度々特集が組まれるほど高まっている。今後も本事業を継続するとともに、必要に応じて拡充していく必要がある。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	3年度における取組のPRと方向性	市内全ての教室にALTを伴う授業が実現できている。また、ほとんどのALTが数年越しの市内勤務となるため、教職員との関係も良好且つ、新しい企画の交流授業や教員研修を行うなどの実践ができています。2年度は全児童生徒に1対1の対面形式のインタビュー授業を実施する予定である。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 英語学習への関心は年々高まっている。英語における児童生徒へのきめ細かい指導、会話力・コミュニケーション能力のを向上させていくためには、今後も本事業を継続していく必要がある。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を聞いたうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
① 事務事業の概要	事務事業名	教育支援センター管理運営費						所管課等	部 局	教育委員会		
	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						課等・班	学校教育課・指導室		
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						電話番号	443-1446	内線 2365	
		具体的施策	学校教育の充実						E-mail	gakkvo@city.yachimata.lg.jp		
	実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	教育支援センターの充実					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	学校教育法 八街市教育支援センターの設置及び管理に関する条例			
	直接の対象者 (〜に対して)	全児童生徒、全保護者						最終的な受益者	市民			
	事業目的 (〜という状態にするために)	学校に登校できなくなった児童生徒の居場所を作り、心を安定させ学校に復帰させるために適応指導教室を設置し、学習支援や教育相談活動を行う。										
	具体的な事業内容 (〜を行う)	不登校児童生徒の居場所を確保するとともに、学習支援やスキル学習、教育相談を行うとともに、学校、保護者と連携し児童生徒の成長を支援する。										
	②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)					
	事業の実績	適応指導教室利用者	人	7	15	16	18					
		カウンセラーによるカウンセリング	件数	131	187	233	250					
		カウンセラーの小学校巡回相談	回	10	34	25	40					
	事業の効果	学校復帰児童生徒数	人	3	5	9	15					
		事業効果に関する外部要因	29年度から中学生は自転車通学可とした。令和元年度からカウンセラーを変更。7月に保護者面談を実施した。通所児童生徒に対してソーシャルスキルトレーニングを行った。学校と積極的な連携をとるため、ケース会議等話をする機会を設けた。ナチュラルを利用する目的を面談等で明確化し、保護者・児童生徒と適宜確認した。									
		事業効果の総合分析(達成できたこと)	通所している児童・生徒については、少しずつ通所できる時間が長くなったり、学校へ登校することができた。ナチュラルでの活動も粘り強く取り組めるようになってきた。学校復帰に向けての取り組みの成果は、年度内に学校復帰した人数現れている。									
④ 事業コスト	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	12,213	12,131	515	1,128					
	決算額	特定・その他財源()	千円	7,537	6,959	273						
		一般財源	千円	4,498	3,461	164						
	2年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報償費	5								
		需用費	241									
		役務費	191									

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	本市の長欠不登校児童生徒の支援については喫緊の課題であり、そのニーズは年々増加している。		A
		市の関与は妥当ですか	a	不登校児童生徒へ支援や未然防止は、将来の引きこもりを防止することとなり、市の財政に寄与するもので、必要である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	学校復帰も平成24年度は増加しており、卒業後の進路も全員が決まる等、効果が得られている。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	すでに臨時職員で対応しており、コストの削減に努めている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	不登校になる原因は多様化している。教育支援センターの維持は、全児童生徒・保護者の権利を確保することとなる。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	八街市における本事業は、必要性と有効性を持っている。コストの削減に努めながらも充実した支援事業に努めていく。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	3年度における取組のPRと方向性	引き続き、家庭訪問担当学校教育相談員及びカウンセラー、電話相談員等市の人材を活用し、各小中学校との連携を密にして、不登校児童生徒の支援に努めていく。特に各小中学校との連携においては管理職や担任との積極的な関わりをより強化していく。幼児・児童・生徒個々のニーズにさらに応えられるようにするため、平成25年度から小学校の巡回相談を行い、より活用を広げるとともに、PRに努める。なお、平成28年度からカウンセラーに関する業務を教育指導諸費より移行。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 学習及び進路指導について、必要と思われる教材・資料及び、施設設備について、コスト削減に努めながらも予算措置を要望し、充実した支援を行っていく。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を因ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		教育センター運営費					所管課等	部 局	教育委員会		
								課等・班	学校教育課・指導室		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					電話番号	443-1446	内線	2362
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街					E-mail	gakkvo@city.yachimata.lg.jp		
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実								
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	教育センター運営の充実			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	学校教育法 八街市教育センターの設置及び管理に関する条例			
	直接の対象者 (～に対して)	幼稚園・小・中学校教職員					最終的な受益者	市内園児・児童・生徒			
事業目的 (～という状態にするために)	教職員の指導力及び資質を向上させ、たくましく生きる力を持った園児・児童生徒の育成に努める。										
具体的な事業内容 (～を行う)	学級経営・学習指導、教務主任、研究主任、学年主任、若年層教員や講師、教育相談、ケース会議、特別支援教育、プログラミング教育・情報モラル育成、道徳指導法、小学校外国語活動の領域について研修会を実施する。また、中学校群研修会、教務主任優良校研修視察、八街市教育講演会を実施する。研究指定を中学校区で行う。交進小学校敷地内新校舎を活用して独立した教育センターの研修体制及び研修支援センターとしてのはたらきを強化する。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	30年度	30年度	2年度	3年度(目標)				
	事業の実績	研修等実施数	回	24	24	24	24				
		講演会開催数	回	1	1	1	1				
		研究指定	校	3校区	3校区	3校区	3校区				
	事業の効果										
事業効果に関する外部要因	他市町村も夏季休業中を中心に研修会を実施している。学校群研修会は、本市独自のものです。										
事業効果の総合分析 (達成できたこと)	研修会及び講演会の実施により、教職員の指導方法に工夫や改善が見られるようになり、児童生徒の授業アンケートから分かりやすい授業や興味関心を高められる学習活動に対して、肯定的な回答が得られるようになってきた。										
④ 事業コスト	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	2,140	2,056	1,353	1,591				
	決算額	特定・その他財源()	千円	1,921	1,735	826					
		一般財源	千円	1,719	1,550	826					
	2年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		報償費	0	委託料	0					
		需用費	16	使用料及び賃借料	443						
		役務費	367								

Check 事務事業の評価					
	区分		一次評価	判定理由	二次評価
	⑤ 事務事業の評価	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	各園、各校におけるアンケートや保護者等による評価から、一層の学力向上、学校改善に対する関心や要望は高い。
市の関与は妥当ですか			a	若年層教職員も増え、業務改善にも取り組む必要がある中、資質向上と授業力アップについて、個人の研修だけでは目標を達成しにくいところがある。全市を上げての取り組みは必要かつ妥当である。	
有効性		期待された効果は得られていますか	a	千葉県標準学力テストの結果に僅かではあるが向上が見られるとともに、魅力的な学校づくりに教職員の研修が活かされている。	A
効率性		事業の効率性を高められますか	b	教職員の異動や状況により、研修内容や取り組みの方法等に柔軟な対応が求められるため、効率性の追求にあたっては慎重を要する。	B
公平性		事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし 研修会には、学校の実情で1校から最低1名参加し、その効果は市内の園児・児童生徒に反映されると考えられ、公平性に問題はない。	A
総括評価		総括及び事業実施上の課題	a	教育公務員特例法に「教員はその職責を遂行するために、絶えず研究と修養に努めなければならない」とある。教員の資質を高めるためには、継続して研修を実施する必要がある。	A
外部評価					
	評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A
				評価者 2	A
Action 今後の事務事業の方向					
⑥	3年度における取組のPRと方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・GIGAスクール構想の実施に伴い、教職員が研修しやすい環境の整備、ならびに研修支援センターとしての役割を一層充実させる。 ・集合型研修だけでなく、遠隔会議システムを活用して、北海道教育大学や千葉工業大学などを結んだ講演会等、新たな研修の方法で開催する。 ・ホームページの容量増加をはかり、各学校の情報発信の支援と管理を行う。また、動画等の配信についてもシステムを構築する。 ・教育センターだより、ホームページの充実などを通して、市内の学校の支援にかかる情報提供をより一層充実させる。 			
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 各学校における教育活動及び研修による教職員の指導力向上のため最低限の予算措置、継続しての研修が必要である。令和2年度から、学校教育課主幹兼教育センター所長の増員をしていただき、教員のより一層の支援をはかることができるので、さらに専任指導主事の増員、専任職員の配置等を通して、機関としての教育センターの機能強化を図る。昨年度から有料のクラウド型ホームページにグレードアップできたので、さらに充実したページになるよう各校のHP支援体制を強化する。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を伺ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		育て八街っ子推進事業費						所 管 課 等	部 局	教育委員会		
									課等・班	学校教育課・指導室		
① 事務 事業 の 概 要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1446	内線	2361
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	gakkvo@city.yachimata.lg.jp		
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実									
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	連携教育の推進				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	学校教育法			
	直接の対象者 (～に対して)	教職員及び児童生徒						最終的な受益者				
事業目的 (～という状態にするために)	園児・児童生徒の生活の安定と健全育成をめざして、八街市における連携教育の在り方について研究し実践する。											
具体的な事業内容 (～を行う)	1 学力向上のために授業改善を推進する。 2 継続的な連携指導項目の徹底指導を推進する。 3 学校と家庭、地域社会との連携を強化する。											
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③ 実 績 ・ 成 果	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)					
	事業の実績	中学校区の連携教育プランの策定と実施		回	3	3	3	3				
		連携教育アンケートの考察		回	0	0	0	0				
		連携教育リーフレット作成と活用		回	1	1	1	1				
	事業の効果											
事業効果に関する外部要因												
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		継続的な取り組みにより、学力向上の兆しが見られ、不登校児童生徒の出現率の減少傾向が確認できた。また、家庭学習の習慣化など保護者の意識の変容もみられている。										
④ 事 業 コ ス ト	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	307	291	71	290					
	決算額			千円	249	208	70					
		特定・その他財源()		千円			0					
	一般財源		千円	249	208	70						
2年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		需用費	70									
		使用料及び賃借料	0									

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	「やちまた教育の日」の反響等から考えて、幼稚園や小・中学校で安心して生活し学ぶことができることへの市民のニーズは高まっている。		B
		市の関与は妥当ですか	b	市内保育園、公立幼稚園及び小・中学校の効果的な連携を推進するために、全市をあげての取り組みは必要かつ妥当である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	推進会議の開催や各実践から目標とする連携教育の在り方に近づきつつあるが、各園や学校間の活動を調整したり、広く市民のニーズに対応した実践を展開するために、一層の検討も求められる。		B
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	達成目標に向けて事業内容の見直しや方策の改善を進め、効率性の向上に取り組んでいく必要がある。		B
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内全体の教育条件及び教育環境の整備と向上に結びつく事業であり、公平性が維持できる。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	園児、児童生徒の基本的な生活習慣の確立と学力向上のために、本事業の継続的な推進は必要な取り組みである。本事業の中核である連携教育は、その内容の修正や改善を図りながら一層の充実を目指すものである。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	3年度における取組のPRと方向性	「学力向上」を目標とした「継続指導共通6項目」、「情報発信」の重視を今年度の重点とする。「落ち着いた園・学校生活の実現と、将来に夢を抱いて生活を送る」ことが学力向上につながることを施策の中心に置く。幼小中高連携を一層推進していく過程の中で、市内の園児及び児童生徒の生活安定と健全育成を図っていく。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 会議の開催や、実践記録の作成に継続して取り組むことで、成果の検証や改善点を明らかにし、次年度以降の本事業の発展につなげる。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名		教育支援体制整備事業費						部 局	教育委員会	
								課等・班	学校教育課・指導室	
								電話番号	443-1446	内線 2364
								E-mail	gakkvo@city.yachimata.lg.jp	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実							
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	特別支援教育の充実		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	学校教育法	
		直接の対象者 (～に対して)	市内保育園・幼稚園・小学校・中学校・八街高等学校					最終的な受益者	市民	
	事業目的 (～という状態にするために)	各学校より得られた児童生徒にとって有効な支援方法を次の学校へ系統的につないでいく。								
	具体的な事業内容 (～を行う)	年長・小6・中3(市内進学生徒のみ)の保護者に卒園・卒業前に引き継ぎシート(保護者に園児児童生徒の生活面や学習面の状態や配慮を要する事項等を記入するシート)を記入していただき、併せて、卒園・卒業学年の担任も引継ぎシートを記入し、進学先へ渡し、必要である児童生徒については個別の指導計画を作成して支援の方法をつないでいく。また、教育支援アドバイザー2名により、事前に園・学校の巡回訪問を行ったり、引き継いだ後にフォローアップ訪問を行ったりして、実態把握と早期支援に努める。								
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)			
	事業の実績	チェックカード記入	人	973	971	940	922			
		研修会参加	人	31	31	31	31			
	事業の効果	引継ぎが必要な児童生徒の引継ぎ人数	人	300	288	200				
事業効果に関する外部要因		通常学級における支援の必要な児童生徒の引継ぎツール不足								
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		本事業も令和元年度で3年目を迎え、引き継ぎシートが浸透してきたことに加え、引き継ぎシートの見直し改良を行ったことで、記入率の割合があがった。そのため、進級前に各園、校への巡回及び要請訪問により発達障害の疑いのある幼児・児童・生徒への手立てについて教員や保護者へ理解と方向性について周知し、適切な支援方法(マザーズホームやことばの教室、病院等の外部接続など)につなげることができた。また、チェックカードや個別の指導計画など、つなぎのツールを作成・検討することができ、系統的な引継ぎの形をつくることができた。								
④ 事業コスト	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)			
	(最終)予算額		千円		2,460	3,091	30	0		
	決算額		千円		2,169	2,135	27			
		特定・その他財源()	千円		718	705	0			
	一般財源	千円		1,451	1,430	27				
2年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			需用費	27						

Check 事務事業の評価

区分	一次評価	判定理由		二次評価(総括)	
必要性	市民からのニーズは高いですか	a	保護者の関心も高く、引き継ぎシートへの記入等の協力は非常によくやっているので、ニーズは高いと考えられる。		A
	市の関与は妥当ですか	a	各校への発達障害支援コーディネーターの派遣等で、事業の中心となっているため妥当と考える。		
有効性	期待された効果は得られていますか	b	引継ぎシートを各校にて活用し、スクリーニングの手立てとして活用事例は徐々に上がってきている。		B
効率性	事業の効率性を高められますか	b	引き継ぎシートや個別指導計画の作成に関して、検討をすることで、さらに効率性を高められると考える。		B
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	b	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	支援を必要とする児童生徒についてはより効果を得られる。	B
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	保護者や先生方のニーズも高く、八街市の幼小中高連携教育にもつながる形で行っているため、さらに広めていきたい。		A
外部評価					
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
			評価者 2	A	

Action 今後の事務事業の方向

3年度における取組のPRと方向性										
事務事業の今後の方向性	取り組み方向									
	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
本事業については、2名の発達障害支援アドバイザー雇用し実施していたが、予算についてはほぼ人件費でありました。令和2年度に雇用形態が臨時職員から会計年度任用職員となったことにより、人件費は総務課所管となったため、令和3年度から事業費は廃止となる。 しかし、本事業は幼児・児童・生徒の支援の引き継ぎが必要であることから、会計年度任用職員を雇用し、継続して実施する。										

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を聞いたうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		小学校教育振興費						所 管 課 等	部 局	教育委員会		
									課等・班	学校教育課・指導室		
① 事務 事業 の 概 要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1446	内線	2363
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	gakkvo@city.yachimata.lg.jp		
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実									
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	基礎的・基本的な学力の定着				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	学校教育法			
	直接の対象者(～に対して)	市内小学校児童						最終的な受益者	市内小学校児童			
事業目的(～という状態にするために)	地域の教育力を取り入れ、児童の興味関心を高めるとともに、新しい学習内容に適応した教材、図書を供与するため。											
具体的な事業内容(～を行う)	ゲストティーチャーの招聘を行う。 図書の購入を行う。 各種大会出場のためのバスの借り上げを行う。 教育用コンピューターの保守業務を行う。											
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③ 実 績 ・ 成 果	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)					
	事業の実績	ゲストティーチャー活用事業		回	96	91	30	100				
	事業の効果	児童の興味・関心の向上										
		専門的な知識・技能の伝達										
備品購入(図書)												
事業効果に関する外部要因												
事業効果の総合分析(達成できたこと)		学校教育の中で、外部人材を活用したり、学校図書館図書の充実を図るなど、各校の実情に即した教育活動の工夫改善を図ることができた。										
④ 事 業 コ ス ト	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	57,562	139,990	125,502	151,961					
	決算額			千円	56,628	138,157	123,892					
		特定・その他財源()		千円	116	141	72					
	一般財源		千円	56,512	138,016	123,820						
2年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			報償費	196	委託料	44,361	負担金	49				
			需用費	5,038	使用料及び賃借料	70,422						
			役務費	993	備品購入費	2,833						

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学校教育が地域との連携で、地域人材を積極的に授業に取り入れていくことは、教育効果を高める上で重要なことであるという認識は高まっている。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	新しい学習内容に即した地域人材の活用・図書教材の購入は、学習意欲の向上・国語力の育成等において重要であり、市の関与は妥当である。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	児童の体験的活動において、専門的な知識・技能を取り入れることにより、児童が意欲的に学習に取り組むと考える。また、図書の購入に伴い国語における読む力の向上が期待できる。		A			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	市内各校が教育活動を工夫改善するために、各校の実情に即した執行をしている。		A			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内各学校において、取り組む事業であり、公平性が保たれると考える。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	各学校の教育活動を工夫・改善し、児童生徒の学習意欲を高めるために重要である。特に、児童生徒の読む力の育成は急務であり、事業の継続が求められる。		A			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	3年度における取組のPRと方向性	地域のゲストティーチャー活用事業を推進することで、地域の力が子どもたちの学びの力にも大きくつながっていく。また、図書の購入に伴い、国語における読む力の向上に期待ができる。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		今後も学校教育に求められるものは多岐にわたる。時代のニーズに合わせた教育活動の実践のためにも、外部人材の活用や学校図書の充実など市内各校の支援を充実させていく。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を聞いたうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名		小学校教材備品等購入費						部 局	教育委員会	
① 事務事業の概要		当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						
		実施の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
		(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実						
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	学校設備・備品の充実		
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	学校教育法		
直接の対象者 (～に対して)		市立小学校児童					最終的な受益者	市立小学校児童		
事業目的 (～という状態にするために)		小学校に対して、教科指導上必要な備品を整備することにより、学校教育の充実を図る。								
具体的な事業内容 (～を行う)		市立小学校全校に対して、教材備品を購入し、整備する。								
②		市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目							
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)			
	事業の実績		教材備品購入学校数	校	9	9	9	9		
	事業の効果		教材備品購入費	千円	1,694	1,707	1,537	1,539		
	事業効果に関する外部要因									
	事業効果の総合分析 (達成できたこと)		市内各小学校が教科指導上必要とする教材備品を購入し、整備した。							
	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	1,709	1,709	1,539	1,539			
決算額		千円	1,694	1,707	1,537					
		特定・その他財源()	千円							
2年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		一般財源	千円	1,694	1,707	1,537				
		備品購入費	1,537							

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。		A
		市の関与は妥当ですか	a	学校教育法により、設置者が経費負担し、学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	備品台帳の活用により、現有備品の確認を行い、教科指導に必要な備品を整備している。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	限られた予算配分の中、教科指導に必要な備品を各小学校の現状に合わせて整備した。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内全小学校に対し整備をしており、公平である。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	学習指導要領により不足している教材等を点検し、教材備品を適正に選定し整備しているが、全体的に予算不足である。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	3年度における取組のPRと方向性	市の厳しい財政上市内の小学校全校に十分な教材備品の整備が難しく、引き続き限られた予算配分の中での整備するよう努めます。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 学校教育法により、学習指導要領による指導内容に基づき教材備品を継続して整備していかなければならない。各学校の現状に併せて整備する必要がある。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を聞いたうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		小学校理科教育振興用備品購入費						部 局	教育委員会			
① 事務事業の概要 当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015 実施方法 直接の対象者(〜に対して) 事業目的(〜という状態にするために) 具体的な事業内容(〜を行う)		基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						課等・班	学校教育課・学務班		
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						電話番号	443-1446	内線	2366
		具体的施策	学校教育の充実						E-mail	gakkvo@city.yachimata.lg.jp		
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	学校設備・備品の充実				
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	学校教育法				
直接の対象者(〜に対して)		市立小学校児童					最終的な受益者	市立小学校児童				
事業目的(〜という状態にするために)		小学校に対して、教科指導上必要な理科備品を整備することにより、学校教育の充実を図る。										
具体的な事業内容(〜を行う)		市立小学校全校に対して、理科備品を購入し、整備する。										
② 市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目										
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)					
	事業の実績		理科備品現有数	%	84.7	84.7	77.0	80.0				
	事業の効果		理科備品購入費	千円	1,126	1,130	1,017	1,017				
	事業効果に関する外部要因											
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		市内各小学校が教科指導上必要とする理科備品を購入し整備した。									
	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	1,130	1,130	1,017	1,017					
決算額		千円	1,126	1,130	1,017	1,017						
		特定・その他財源()	千円	543	550	400	400					
		一般財源	千円	583	580	617	617					
2年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		備品購入費	1,017									

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。		A
		市の関与は妥当ですか	a	学校教育法により、設置者が経費負担し、学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	備品台帳の活用により、現有備品の確認を行い、教科指導に必要な備品を整備している。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	限られた予算配分の中、教科指導に必要な備品を各小学校の現状に合わせて整備した。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内全小学校に対し整備をしており、公平である。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	学習指導要領により不足している教材等を点検し、教材備品を適正に選定し整備をしているが、全体的に予算不足である。今年度は、国の補助金が追加交付されたため、必要な備品が整備できた。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	3年度における取組のPRと方向性	市の厳しい財政上市内の小学校全校に十分な理科備品の整備が難しく、引き続き限られた予算配分の中での整備するよう努めます。また平成24年度から1校あたりの国の基準額が下がったことにより、備品台帳により廃棄等の見直しを行い、国の補助金を活用する。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 学校教育法により、学習指導要領による指導内容に基づき理科備品を継続して整備していかなければならない。各学校の現状に併せて整備する必要がある。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を聞いたうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		小学校児童援助奨励費						部 局		教育委員会	
① 事務事業の概要		当該事業が該当する個別計画等		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					
		施策の大綱		五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
		（八街市総合計画）2015		具体的施策		学校教育の充実					
		実施計画		開始	2020	終了	2024	主な計画事業		就学における経済的援助	
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				実施根拠		八街市要保護及び準要保護児童生徒に対する就学援助実施要綱			
直接の対象者（～に対して）		市内に住所を有し、経済的理由により就学が困難な児童の保護者						最終的な受益者		児童の保護者	
事業目的（～という状態にするために）		経済的理由により、就学が困難と認められる児童に必要な教育を受けさせるため。									
具体的な事業内容（～を行う）		学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、学校給食費、クラブ活動費等の援助を行う。									
②		市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目							
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果		区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)			
		事業の実績		準要保護児童認定数	人	230	195	228	220		
								(実認定数)			
		事業の効果		準要保護児童認定率	%	7.5	6.7	8.3	8.3		
								(3/31児童数)			
		事業効果に関する外部要因		<ul style="list-style-type: none"> 不安定な雇用形態やリストラ、離婚件数の増加 (R2年度から)コロナ禍により収入が減少した家庭の増加 							
事業効果の総合分析(達成できたこと)		経済的理由により教育の格差をなくし、円滑な学校運営にも寄与している。									
④ 事業コスト		区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)			
		(最終)予算額		千円	18,641	19,466	20,352	22,289			
		決算額		千円	18,639	18,206	17,909				
				特定・その他財源()	千円	1,517	1,845	1,960			
				一般財源	千円	17,122	16,361	15,949			
2年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		扶助費		17,909							

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	昨今の厳しい社会情勢により保護者のリストラや離婚等により、安定した収入が得られない世帯が増加しているため、市民からのニーズは高い。		A
		市の関与は妥当ですか	a	平成24年度に要綱を制定したため、妥当である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	教育の機会均等の見地から効果は得られている。		B
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	認定基準の厳格化により、効率性は更に高められる。		B
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	b	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	全児童・生徒の保護者が対象であるが、認定基準上、少数の特定市民対が対象となっているため、基準の厳格化の推進が更に必要である。	B
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	b	教育の機会均等を図るために、継続的な制度の周知や事務処理の工夫を充実させる必要がある。		B
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	B	
				評価者 2	B	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	3年度における取組のPRと方向性	保護者の経済的理由による教育の格差を防止するため、学校と連携をし、制度のPRとともに児童・生徒の保護に努める。また、制度の公平性を確保するため、基準の厳格化の推進を図る。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向				
		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	教育の機会均等に資するため、継続的に実施する必要がある。制度の周知および基準の厳格化について、推進する必要がある。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		小学校ICT環境整備事業費						所 管 課 等	部 局	教育委員会	
									課等・班	学校教育課・指導室	
① 事務 事業 の 概 要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1446	内線
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	gakkvo@city.yachimata.lg.jp	
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実								
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	教育環境づくりの充実			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	学習指導要領		
	直接の対象者(～に対して)	市内小学校児童						最終的な受益者	市内小学校児童		
事業目的(～という状態にするために)	児童1人1台の教育用コンピューターを整備し、学習活動において積極的にICTを活用することにより、児童の教育的ニーズや学習状況に応じた教育活動の工夫改善(学びのモデルチェンジ)、また、児童がICTを適切・安全に使いこなすことができるように、ネットリテラシーなどの情報活用能力の育成を図る。										
具体的な事業内容(～を行う)	高速大容量の校内無線LAN、児童1人1台のタブレット型パソコンの整備及びこれに関わる周辺機器の整備を行う。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実 績 ・ 成 果	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)				
	事業の実績	校内無線LAN整備		校			9				
		1人1台のタブレット型パソコン整備		台			1,597				
	事業の効果	教育用コンピュータの活用									
		主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善									
	事業効果に関する外部要因										
事業効果の総合分析(達成できたこと)		高速大容量の校内無線LAN、児童1人1台のタブレット型の教育用コンピュータの整備及びこれに関わる周辺機器の整備を国庫補助金を活用して行うことができた。									
④ 事 業 コ ス ト	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)				
	(最終)予算額		千円			389,777	0				
	決算額			千円			383,815				
		特定・その他財源()		千円			131,002				
	一般財源		千円			252,813					
2年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			委託料	124,232							
			使用料及び賃借料	9,498							
			備品購入費	250,085							

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学校教育の中で、一人一台の教育用コンピュータを整備し、教育効果を高めていく事は、重要であるとの認識が高い。		A
		市の関与は妥当ですか	a	時代に即した教育内容の充実、ICT教育環境の整備、情報モラル教育の充実等、施策体型に結びついている。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	市内各校が教育活動を改善するために、各校が工夫して教育用コンピュータを活用している。		B
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	一人一台の教育用コンピュータ整備については、国庫補助金を活用し、国の基準に応じた割り振りとしている。		B
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内各小学校において、取り組む事業であり、公平性が保たれる。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	b	校内無線LAN及び児童1人1台のタブレット型の教育用コンピュータの整備は完了したが、各校の活用については、今後支援していく必要がある。		B
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない		評価者 1	B	
		B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない				
		C 検討の余地あり		評価者 2	B	
		D 検討の余地は大きい				
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	3年度における取組のPRと方向性	整備した高速大容量の校内無線LAN、児童1人1台のタブレット型の教育用コンピュータを活用して、個別最適化された学びや遠隔(リモート)による交流等学びのモデルチェンジを実施し、将来八街市を支える人材づくりへとつなげる。				
	事務事業の今後の方向性	<p style="text-align: center;">取り組み方向</p> <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了				
		各中学校生徒の学力の向上のため、電子黒板やプログラミング教材の整備等継続して実施する。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を聞いたうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	中学校教育振興費						所管課等	部 局	教育委員会	
								課等・班	学校教育課・指導室	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				電話番号	443-1446	内線	2363
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街				E-mail	gakkvo@city.yachimata.lg.jp		
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実							
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	基礎的・基本的な学力の定着		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	学校教育法			
直接の対象者 (～に対して)	市内中学校生徒					最終的な受益者	市内中学校生徒			
事業目的 (～という状態にするために)	地域の教育力を取り入れ、生徒の興味関心を高めると共に、新しい学習内容に適応した教材、図書を供与するため。									
具体的な事業内容 (～を行う)	ゲストティーチャーの招聘、図書の購入、各種大会出場のための送迎用バスの借り上げを行う。また、教育用コンピュータ保守業務を行う。									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	事業の実績	区分	単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)			
		ゲストティーチャー活用事業	回	8	6	0	10			
	児童生徒PC端末整備(GIGAスクール構想)	%			100	100				
	事業の効果	生徒の興味・関心の向上								
		専門的な知識・技能の伝達								
		備品購入(図書)								
	事業効果に関する外部要因	外部人材の活用、図書の充実、コンピュータの保守業務については、市町村の状況に合わせた形で実施されている。大会への移動については、バスの保有等により様々である。								
事業効果の総合分析(達成できたこと)	学校教育の中で、外部人材を活用したり、学校図書館図書の充実を図るなど、各校の実情に即した教育活動の工夫改善を図る。									
④ 事業コスト	区分	単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)				
	(最終)予算額	千円	29,931	63,263	72,036	77,730				
	決算額	千円	28,958	62,252	71,371					
		特定・その他財源()	千円							
	2年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)	報償費	15	委託料	25,605	負担金及び補助金	820			
需用費		11,170	使用料及び賃借料	31,006						
役務費		441	備品購入費	2,314						

Check 事務事業の評価

区分	一次評価	判定理由		二次評価	
必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学校教育が地域との連携を行う上で、地域人材を積極的に授業に取り入れていくことは重要なことと考える。		A
	市の関与は妥当ですか	a	外部人材の活用、また新しい学習内容に即した図書教材の購入は生徒の国語力を育成する上で重要と考える。		
有効性	期待された効果は得られていますか	a	生徒の体験的活動において、専門的な知識・技能を取り入れることにより生徒が意識的に学習に取り込むと考える。図書の購入に伴い、国語力の向上が期待できる。		A
効率性	事業の効率性を高められますか	a	市内各中学校においてが教育活動を工夫改善するために、各校の実情に即した執行をしている。		A
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内各中学校において、取り組む事業であり、公平性が保たれる。	A
総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	各中学校の教育活動を工夫・改善し、生徒の学習への意欲を高めるために重要である。特に生徒の読む力の育成は急務であり、事業の継続が求められる。		A
外部評価					
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
			評価者 2	A	

Action 今後の事務事業の方向

3年度における取組のPRと方向性	ゲストティーチャーの招聘、学校図書館の図書の購入、各種大会出場のため最低限の予算措置、及び事業の実施。教育用コンピュータ保守業務を行う。								
事務事業の今後の方向性	取り組み方向								
	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
	各中学校生徒の学習意欲を高め、学力の向上のため継続して実施する。								

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を聞いたうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		中学校教材備品等購入費						所管課等	部 局	教育委員会		
									課等・班	学校教育課・学務班		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1446	内線	2366
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	gakkvo@city.yachimata.lg.jp		
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実									
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	学校設備・備品の充実				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	学校教育法			
	直接の対象者 (～に対して)	市内中学校生徒						最終的な受益者	市内中学校生徒			
事業目的 (～という状態にするために)	中学校に対して、教科指導上必要な備品を整備することにより、学校教育の充実を図る。											
具体的な事業内容 (～を行う)	市立中学校全校に対して、教材備品を購入し、整備する。											
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)					
	事業の実績	教材備品購入学校数	校	4	4	4	4					
	事業の効果	教材備品購入費	千円	1,485	1,477	1,337	1,337					
事業効果に関する外部要因												
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		市内各中学校が教科指導上必要とする教材備品を購入し、整備した。										
④ 事業コスト	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	1,485	1,485	1,337	1,337					
	決算額		千円	1,485	1,477	1,337						
		特定・その他財源()	千円									
		一般財源	千円	1,485	1,477	1,337						
2年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		備品購入費 1,337										

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	学校教育法により、設置者が経費負担し、学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	備品台帳の活用により、現有備品の確認を行い、教科指導に必要な備品を整備している。		A			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	限られた予算配分の中、教科指導に必要な備品を各小学校の現状に合わせて整備した。		A			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内全中学校に対し整備をしており、公平である。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	学習指導要領により不足している教材等を点検し、教材備品を適正に選定し整備しているが、全体的に予算不足である。		A			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	3年度における取組のPRと方向性	市の厳しい財政上市内の小学校全校に十分な教材備品の整備が難しく、引き続き限られた予算配分の中での整備するよう努めます。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		学校教育法により、学習指導要領による指導内容に基づき教材備品を継続して整備していかなければならない。各学校の現状に併せて整備する必要がある。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を因ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		中学校理科教育振興用備品購入費						所管課等	部 局	教育委員会	
									課等・班	学校教育課・学務班	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた								
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街								
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実								
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	学校設備・備品の充実			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	学校教育法		
	直接の対象者 (～に対して)	市立中学校生徒						最終的な受益者	市立中学校生徒		
事業目的 (～という状態にするために)	中学校に対して、教科指導上必要な理科備品を整備することにより、学校教育の充実を図る。										
具体的な事業内容 (～を行う)	市立中学校全校に対して、理科備品を購入し、整備する。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)				
	事業の実績	理科備品現有率	%	79.3	80.0	85.7	86.0				
	事業の効果	理科備品購入費	千円	1,020	1,015	918	918				
事業効果に関する外部要因											
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		市内各中学校が教科指導上必要とする理科備品を購入し、整備した。									
④ 事業コスト	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	1,020	1,020	918	918				
	決算額		千円	1,020	1,015	918					
		特定・その他財源()	千円	496	497	387					
		一般財源	千円	524	518	531					
2年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		備品購入費 918									

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。		A
		市の関与は妥当ですか	a	学校教育法により、設置者が経費負担し、学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	備品台帳の活用により、現有備品の確認を行い、教科指導に必要な備品を整備している。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	限られた予算配分の中、教科指導に必要な備品を各小学校の現状に合わせて整備した。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内全中学校に対し整備をしており、公平である。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	学習指導要領により不足している教材等を点検し、教材備品を適正に選定し整備をしているが、全体的に予算不足である。今年度は、国の補助金が追加交付されたため、必要な備品が整備できた。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	3年度における取組のPRと方向性	市の厳しい財政上市内の小学校全校に十分な理科備品の整備が難しく、引き続き限られた予算配分の中での整備するよう努めます。また、平成24年度から1校あたりの国の基準額が下がったことにより、備品台帳による廃棄等の見直しを行い、国の補助金を活用する。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 学校教育法により、学習指導要領による指導内容に基づき理科備品を継続して整備していかなければならない。各学校の現状に併せて整備する必要がある。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を因ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		中学校生徒援助奨励費						所管課等	部 局	教育委員会		
									課等・班	学校教育課・学務班		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1446	内線	2368
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	gakkvo@city.yachimata.lg.jp		
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実									
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	就学における経済的援助				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	八街市要保護及び準要保護児童生徒に対する就学援助実施要綱			
	直接の対象者 (～に対して)	市内に住所を有し、経済的理由により就学が困難な生徒の保護者						最終的な受益者	生徒の保護者			
事業目的 (～という状態にするために)	経済的理由により就学が困難と認められる生徒に必要な教育を受けさせるため。											
具体的な事業内容 (～を行う)	学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、学校給食費、クラブ活動費等の援助を行う。											
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)					
	事業の実績	準要保護生徒認定数	人	130	148	150	150					
							(実認定数)					
	事業の効果	準要保護児童認定率	%	7.7	8.9	9.4	9.4					
							(3/31生徒数)					
	事業効果に関する外部要因	・不安定な雇用形態やリストラ、離婚件数の増加 ・(R2年度から)コロナ禍により収入が減少した家庭の増加										
事業効果の総合分析 (達成できたこと)	経済的理由により教育の格差をなくし、円滑な学校運営にも寄与している。											
④ 事業コスト	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	23,102	29,955	28,121	29,747					
	決算額		千円	19,793	23,813	19,723						
		特定・その他財源()	千円	1,871	2,149	1,534						
		一般財源	千円	17,922	21,664	18,189						
2年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		扶助費	19,667									
		償還金利子及び割引料	56									

Check 事務事業の評価

区分	一次評価	判定理由		二次評価
必要性	市民からのニーズは高いですか	a	昨今の厳しい社会情勢により保護者のリストラや離婚等により、安定した収入が得られない世帯が増加しているため、市民からのニーズは高い。	
	市の関与は妥当ですか	a	平成24年度に要綱を制定したため、妥当である。	
有効性	期待された効果は得られていますか	b	教育の機会均等の見地から効果は得られている。	
効率性	事業の効率性を高められますか	b	認定基準の厳格化により、効率性は更に高められる。	
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	b	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	全児童・生徒の保護者が対象であるが、認定基準上、少数の特定市民対が対象となっているため、基準の厳格化の推進が更に必要である。
総括評価	総括及び事業実施上の課題	b	教育の機会均等を図るために、継続的な制度の周知や事務処理の工夫を充実させる必要がある。	
外部評価				
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	B
			評価者 2	B

Action 今後の事務事業の方向

⑥	3年度における取組のPRと方向性	保護者の経済的理由による教育の格差を防止するため、学校と連携をし、制度のPRとともに児童・生徒の保護に努める。また、制度の公平性を確保するため、基準の厳格化の推進を図る。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		教育の機会均等に資するため、継続的に実施する必要がある。制度の周知および基準の厳格化について、推進する必要がある。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		中学校ICT環境整備事業費						所 管 課 等	部 局	教育委員会		
									課等・班	学校教育課・指導室		
① 事務 事業 の 概 要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1446	内線	2363
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	gakkvo@city.yachimata.lg.jp		
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実									
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	教育環境づくりの充実				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	学習指導要領			
	直接の対象者 (～に対して)	市内中学校生徒						最終的な受益者	市内中学校生徒			
事業目的 (～という状態にするために)	生徒1人1台の教育用コンピューターを整備し、学習活動において積極的にICTを活用することにより、児童の教育的ニーズや学習状況に応じた教育活動の工夫改善(学びのモデルチェンジ)、また、児童がICTを適切・安全に使いこなすことができるように、ネットリテラシーなどの情報活用能力の育成を図る。											
具体的な事業内容 (～を行う)	高速大容量の校内無線LAN、生徒1人1台のタブレット型パソコンの整備及びこれに関わる周辺機器の整備を行う。											
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③ 実 績 ・ 成 果	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)					
	事業の実績	校内無線LAN整備		校			4					
		1人1台のタブレット型パソコン整備		台			2,737					
	事業の効果	教育用コンピュータの活用										
		主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善										
	事業効果に関する外部要因											
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		高速大容量の校内無線LAN、児童1人1台のタブレット型の教育用コンピュータの整備及びこれに関わる周辺機器の整備を国庫補助金を活用して行うことができた。										
④ 事 業 コ ス ト	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)					
	(最終)予算額		千円			216,993	0					
	決算額			千円			210,574					
		特定・その他財源()		千円			73,885					
	一般財源		千円			136,689						
2年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		委託料	64,014									
		使用料及び賃借料	1,315									
		備品購入費	145,245									

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学校教育の中で、一人一台の教育用コンピュータを整備し、教育効果を高めていく事は、重要であるとの認識が高い。		A
		市の関与は妥当ですか	a	時代に即した教育内容の充実、ICT教育環境の整備、情報モラル教育の充実等、施策体形に結びついている。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	市内各校が教育活動を改善するために、各校が工夫して教育用コンピュータを活用している。		B
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	一人一台の教育用コンピュータ整備については、国庫補助金を活用し、国の基準に応じた割り振りとしている。		B
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内各中学校において、取り組む事業であり、公平性が保たれる。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	b	校内無線LAN及び生徒1人1台のタブレット型の教育用コンピュータの整備は完了したが、各校の活用については、今後支援していく必要がある。		B
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	B	
				評価者 2	B	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	3年度における取組のPRと方向性	整備した高速大容量の校内無線LAN、児童1人1台のタブレット型の教育用コンピュータを活用して、個別最適化された学びや遠隔(リモート)による交流等学びのモデルチェンジを実施し、将来八街市を支える人材づくりへとつなげる。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 各中学校生徒の学力の向上のため、電子黒板やプログラミング教材の整備等継続して実施する。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を聞いたうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
① 事務事業の概要	事務事業名	学校保健管理費						所管課等	部 局	教育委員会		
	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						課等・班	学校教育課・学務班		
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						電話番号	443-1446	内線 2369	
		具体的施策	学校教育の充実						E-mail	gakkvo@city.yachimata.lg.jp		
	実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	健康づくりの推進					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	学校保健安全法			
	直接の対象者 (～に対して)	幼稚園児・児童・生徒・教職員						最終的な受益者	幼稚園児・児童・生徒・保護者			
	事業目的 (～という状態にするために)	・幼稚園児、児童、生徒及び教職員の健康保持増進を図ることにより、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に質する。 ・安全で衛生に配慮した学校給食の提供。 ・学校環境衛生を維持・管理し、健康的な学習環境を確保する。										
	具体的な事業内容 (～を行う)	・幼稚園児、児童、生徒の健康診断・教職員健康診断・就学時健康診断・環境検査測定業務・給食補助員の配置。										
	②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)					
	事業の実績	1	幼稚園児・児童・生徒・教職員の健康診断及び就学時健康診断	人	5,743	5,500	5,145	5,089				
		2	環境検査(水質・空気・照度等)	園 学校数	16	16	16	16				
		3	給食補助員の数	人	18	18	18	18				
	事業の効果	1	健康保持増進及び疾病の早期発見指導及び早期治療	人	5,743	5,500	5,145	5,089				
		2	学校環境の衛生的な維持	園 学校数	16	16	16	16				
		3	安全で衛生に配慮した学校給食の提供	人	18	18	18	18				
	事業効果に関する外部要因											
	事業効果の総合分析 (達成できたこと)		・幼稚園児、児童、生徒及び教職員の健康管理及び学校環境を衛生的に保持した。									
	④ 事業コスト	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)				
(最終)予算額		千円		30,261	30,540	17,471	19,263					
決算額			千円		29,822	29,612	16,934					
		特定・その他財源()	千円									
		一般財源	千円		29,822	29,612	16,934					
2年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			報酬	8,004	役員費	1,473						
			需用費	461	委託料	6,996						

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	健全育成や健康づくりの観点からニーズは高い。		A
		市の関与は妥当ですか	a	学校保健安全法の規定及び学校環境衛生の基準による事業のため妥当である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	健康に対する関心が高くなり、健康教育の一環となっている。 健康保持増進及び疾病の早期発見指導及び早期治療。 学校環境を衛生的に維持した。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	給食補助員については、臨時職員であり、時間給対応により委託よりも安価となっている。 健康診断検査等は健診専門機関へ委託。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	対象者は市立幼稚園児、児童、生徒及び学校教職員全員であるため公平である。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	学校保健安全法の規定及び学校環境衛生の基準にそって適正に実施している。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	3年度における取組のPRと方向性	各健康診断については年間計画に沿って適正に実施する。未受診者の事後指導を実施する。 また、労働者自身によるストレスへのセルフケアと、事業者によるストレスの要因の低減を目的としたストレスチェック制度を実施する。 給食配膳室の衛生管理を徹底する。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 学校保健安全法の改正等に留意し、適切に事業を推進する。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を聞いたうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	学校保健諸費						所管課等	部 局	教育委員会	
								課等・班	学校教育課・学務班	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				電話番号	443-1446	内線	2368
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街				E-mail	gakkvo@city.yachimata.lg.jp		
	具体的施策	学校教育の充実								
	実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	健康づくりの推進			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	学校保健安全法			
直接の対象者 (〜に対して)	幼稚園児・児童・生徒・養護教諭・保健主事					最終的な受益者	幼稚園児・児童・生徒・保護者			
事業目的 (〜という状態にするために)	・学校管理下における児童、生徒等の災害に対し精神的、経済的負担の軽減を図る。 ・学校保健会、養護教諭会、保健主事会の健全な運営を図る。									
具体的な事業内容 (〜を行う)	・負担金(日本スポーツ振興センター災害共済掛金、県郡学校保健会、県郡養護教諭会、県郡保健主事会) ・災害共済給付金のセンターへの請求および、共済加入者への給付									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)			
	事業の実績	1	日本スポーツ振興センター災害共済掛金	人	4,910	4,542	4,502	4,406		
		2	学校保健会・養護教諭会・保健主事会負担金	千円	195	168	165	159		
	事業の効果	1	児童・生徒に対する共済給付	人	384	586	211			
		2	学校保健会・養護教諭会・保健主事会の健全な育成	千円	195	168	165	159		
	事業効果に関する外部要因	R2年度について、新型コロナウイルス感染症対策の休校や行事の中止等により、学校管理下での事故発生件数および共済給付人数が大幅に減少した。								
	事業効果の総合分析 (達成できたこと)	・災害共済加入・給付および負担金について、遅滞・漏れ等なく行えた。 なお、災害共済は例年どおり、市内公立小中学校・幼稚園に在籍する児童生徒および幼児全員が加入している。 ・共済給付金の給付方法変更(⑥参照)について、令和3年度からスムーズに移行できるよう準備を進めた。								
④ 事業コスト	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)			
	(最終)予算額		千円		4,636	4,463	4,248	4,110		
	決算額		千円		4,573	4,341	4,203			
		特定・その他財源()	千円							
		一般財源	千円		4,573	4,341	4,203			
2年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			負担金	4,203						

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	安心・安全な学校生活を送るため、対象者からのニーズは高い。		A
		市の関与は妥当ですか	a	学校管理下における児童・生徒等の災害に対し必要な事業である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	幼稚園児、児童、生徒及び保護者の精神的、経済的負担の軽減が図られる。学校保健会等の健全な運営が図られる。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	月1回、学校(園)から申請のあったものを確認のうえ、遅滞なく日本スポーツ振興センターに提出しており、給付金についても適正に処理している。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	b	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	全市立幼稚園児、児童・生徒が対象であり、公平性はあるが、受益者負担はない。	B
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	安心・安全な学校生活を送るため必要性の高い事業である。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	3年度における取組のPRと方向性	<ul style="list-style-type: none"> 保護者、学校、教育委員会、日本スポーツ振興センター相互の連携を密にし、申請もれ、加入もれ等が生じないよう適切に処理する。 給付金の支給方法について、従来の学校長を通じた支給から、直接保護者の口座へ支給する方法に変更し、学校側の事務負担軽減を図る。 				
	事務事業の今後の方向性	<p style="text-align: center;">取り組み方向</p> <p> <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 </p> <ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携し、適正に事業を実施する。 ケガ、事故等を未然に防ぐため、学校保健会、養護教諭、保健主事と連携し、安全教育や安全点検等を充実する。 				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要															
事務事業名		学校保健特別対策事業費						部 局		教育委員会					
① 事務事業の概要		当該事業が該当する個別計画等		基本構想				課等・班		学校教育課・指導室					
		実施の大綱		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				電話番号		443-1446 内線 2362					
		具体的施策		五の街 めざます！心の豊かさを感じる街				E-mail		gakkvo@city.yachimata.lg.jp					
		実施計画		開始		2020		終了		2024					
						主な計画事業		健康づくりの推進							
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠		学校保健安全法 新型インフルエンザ等対策特別措置法					
直接の対象者（～に対して）		各小中学校教職員及び児童生徒						最終的な受益者		各小中学校教職員及び児童生徒					
事業目的（～という状態にするために）		コロナ禍での感染予防及び拡大を防止するために、備品や消耗品の整備、学習環境の整備を行う。													
具体的な事業内容（～を行う）		感染症予防及び拡大防止のため、小中学校のアルコールやパーテーション等の整備 コロナ禍の中で学びを止めないための学習教材（教師用デジタル教科書）の整備													
②		市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目											
Do 事務事業の実施															
③ 実績・成果		区分		単位		30年度		元年度		2年度		3年度(目標)			
		事業の実績		1 備品・消耗品の整備		校						13			
				2 教師用デジタル教科書購入		校						13			
				3		校									
		事業の効果		1 感染症予防及び拡大防止											
				2 コロナ禍で学びを止めないための学習環境整備											
				3											
事業効果に関する外部要因															
事業効果の総合分析（達成できたこと）		感染症予防及び拡大防止のため、アルコールやパーテーション等を整備することができた。コロナ禍の中で学びを止めないための学習教材（教師用デジタル教科書）の整備することができた。													
④ 事業コスト		区分		単位		30年度		元年度		2年度		3年度(目標)			
		(最終)予算額		千円						52,802		35,000			
		決算額				千円						51,211			
				特定・その他財源()		千円						25,208			
		一般財源		千円								26,003			
2年度の主な歳出節別内訳（単位：千円）		需用費		9,246											
		使用料及び賃借料		1,135											
		備品購入費		40,830											

Check 事務事業の評価

区分		一次評価	判定理由		二次評価
必要性	市民からのニーズは高いですか	a	新型コロナウイルス感染症の蔓延防止を図ることにより、安心・安全な学校生活を送ることができるため、対象者からのニーズは高い。		A
	市の関与は妥当ですか	a	学校管理下における児童・生徒等の新型コロナウイルス感染症の感染防止及び安全対策であることから必要な事業である。		
有効性	期待された効果は得られていますか	a	児童・生徒の安心・安全な学校生活が確保されたことにより、十分な教育活動を継続することができた。		A
効率性	事業の効率性を高められますか	a	安心して学校生活をおくる体制を整備できる。		A
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	対象者は児童、生徒及び学校教職員全員であるため公平である。	A
総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	コロナ禍でも感染防止対策を図ることで、児童・生徒が安心して学校生活をおくる体制を整備できた。		A
外部評価					
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい			評価者 1	A
				評価者 2	A

Action 今後の事務事業の方向

⑥	3年度における取組のPRと方向性									
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向								
		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了								
		コロナウイルス感染症の今後の動向から判断する。								

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		教育支援体制整備事業費(幼稚園感染症対策)						所 管 課 等	部 局	教育委員会	
									課等・班	学校教育課・学務班	
									電話番号	443-1446	内線 2366
									E-mail	gakkvo@city.yachimata.lg.jp	
①事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた								
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街								
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実								
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	市立幼稚園管理運営の充実			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠			
		直接の対象者(～に対して)	幼稚園児・教職員					最終的な受益者	幼稚園児・保護者		
	事業目的(～という状態にするために)	新型コロナウイルス感染症対策の一環として幼稚園の質の向上のため、環境の整備を行うことにより質の高い環境で子供を安心して育てる体制を整備する。									
	具体的な事業内容(～を行う)	市立幼稚園3園に新型コロナウイルス感染症対策として保健衛生用品を購入した。									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③実績・成果	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)				
	事業の実績	保健衛生用品等の配置	園			3	3				
		非接触体温計	個			13	0				
		空気清浄機	個			11	0				
	事業の効果	園環境の衛生的な維持	園			3	3				
	事業効果に関する外部要因										
	事業効果の総合分析(達成できたこと)	市立幼稚園3園に対し、保健衛生用品や空気清浄機等備品を配備することで新型コロナウイルス感染症の蔓延防止に寄与することができた。									
④事業コスト	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)				
	(最終)予算額		千円			3,112	1,500				
	決算額		千円			3,087					
		特定・その他財源()	千円			3,000					
		一般財源	千円			87					
	2年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)	需用費	2,365								
		備品購入費	722								

Check 事務事業の評価

⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価(総括)	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	新型コロナウイルス感染症の蔓延防止の観点からニーズは高い。		A
		市の関与は妥当ですか	a	市立幼稚園の設置者である市が負担とすることは妥当である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	新型コロナウイルス感染症の蔓延防止に寄与していると考えられる。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	保健衛生用品等を配付することにより、子供を安心して育てる体制を整備できる。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内全園に対し配付をしており、公平である。	A
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	新型コロナウイルス感染症により、生活様式について変更せざるを得ないことから、今後についても十分な保健衛生用品が必要と思われる。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	

Action 今後の事務事業の方向

⑥	3年度における取組のPRと方向性	新型コロナウイルス感染症対策の一環として、保健衛生用品等を購入し配付することで、子供を安心して育てる体制を維持する。								
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向								
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
		新型コロナウイルス感染症対策のため、今後も保健衛生用品等を配付する。								

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を因ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		社会教育振興費						所管課等	部 局	教育委員会		
									課等・班	社会教育課・社会教育推進班		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				E-mail	電話番号	443-1464	内線		
	(八街市総合計画) 2015	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail		shakvo@city.yachimata.lg.jp	
		具体的施策	生涯学習環境の整備・社会教育活動の推進・芸術文化の振興				生涯学習推進体制の確立・学習情報の収集と提供・人材バンクの登録と提供・学習機会の充実・家庭教育の支援・芸術文化事業の充実・芸術文化活動団体への支援					
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業					
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	教育基本法、社会教育法、文化芸術基本法、八街市社会教育委員に関する条例、八街市社会教育指導員の設置等に関する規則、八街市家庭教育指導員の設置等に関する規則			
		直接の対象者(〜に対して)	市民					最終的な受益者	市民			
	事業目的(〜という状態にするために)	社会教育委員、社会教育指導員・家庭教育指導員を委嘱し、それぞれの専門的な知見を活かし、本市の社会教育の充実を図る。また、市民を対象とした各種学級、講座、研修会、講演会、発表会、展示会等を開催し、生涯にわたり生きがいのある生活と心がかようまちづくりを目指し、市民の学習や文化芸術に対する関心を高め、市民文化の向上を図る。										
	具体的な事業内容(〜を行う)	1. 社会教育委員会議を開催し、社会教育事業について検証や提案、教育委員会の諮問に対する答申や提言を行う。 2. 社会教育指導員による高齢者学級や生きがい短期大学への指導・助言、家庭教育指導員による家庭教育相談業務や幼・小・中学校で開催する家庭教育学級への指導・助言を行う。 3. 市民を対象とした各種学級、講座、研修会、講演会等を開催する。 4. 八街市民音楽祭、市民文化祭、芸術作品展示会等を開催する。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	生涯学習施設の整備									
		市民の楽しめる場所や施設がなく、複合施設とし、図書館、カルチャー、文化センター、フードコート等を計画してほしい。										
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	30年度	元年度	2年度	令和3年度(目標)					
	事業の実績	1	高齢者学級の実施(自主学級)	学級数	9	9	中止	10				
		2	家庭教育学級の実施	学級数	15	15	中止	オンライン開催				
		3	家庭教育講演会の開催	回	1	1	中止	オンライン開催				
		4	社会教育振興大会の開催	回	1	中止	中止	1				
		5	輝く女性の研修会の開催	回	1	1	中止	中止				
		6	市民文化祭の実施	回	1	1	中止	中止				
		7	市民音楽祭の実施	回	1	1	中止	中止				
	事業の効果	1	高齢者学級開催数	回	68	51	中止	25				
		2	家庭教育学級修了者数	人	191	187	中止	オンライン開催				
3		家庭教育講演会の参加者数	人	320	292	中止	オンライン開催					
4		社会教育振興大会の参加者数	人	189	中止	中止	検討中					
5		輝く女性の研修会の参加者数	人	224	221	中止	中止					
6		市民文化祭の出演・出品者数	人	827	690	中止	中止					
7		市民音楽祭の出演者・来場者数	人	720	736	中止	中止					
	事業効果に関する外部要因	家庭教育学級の学級生数は、児童・生徒の減少や社会状況の変化により影響を受ける。各種事業への参加者・団体の固定化や人口減、少子高齢化。										
	事業効果の総合分析(達成できたこと)	新型コロナウイルス感染症の影響により全ての事業が中止となった。										
④ 事業コスト	区分		単位	30年度	元年度	2年度	令和3年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	20,002	8,272	1,285	2,508					
	決算額		千円	7,279	7,346	1,092	2,508					
		特定・その他財源()	千円	719	548	77	93					
		一般財源	千円	6,560	6,798	1,015	2,415					
2年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報酬	121	負担金及び補助金	610							
		需用費	359									
		役務費	2									

Check 事務事業の評価							
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市民の価値観が多様化する中、社会教育事業に市民ニーズを反映させるための社会教育委員、高齢者学級及び家庭教育学級を運営するための社会教育指導員及び家庭教育指導員の存在は大きい。また、生涯学習や文化芸術に関する市民の関心は高まっており、今後も市民ニーズは増大・複雑化すると思われる。		A	
		市の関与は妥当ですか	a	社会教育委員、指導員は、社会教育・生涯学習を推進するため大きな役割を担っている。また、文化芸術基本法により市が地域の特性に応じた施策を実施する必要があることから、市民に文化芸術の発表・鑑賞機会を提供することは必要である。なお、コロナ禍ではあるが市民が主役の事業については協働を推進し、市民ニーズを踏まえた学習・発表の機会を提供することは市の責務である。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により全ての事業は中止となり、期待された成果は得られなかった。コロナ禍ではあったが、社会教育委員会議を3回実施し、うち1回は書面開催で行った。		B	
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により全ての事業は中止となったが、社会教育委員会議など専門知識を有する委員の意見や指導員の指導・助言を受けている。		B	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	例年は講座等で材料費・保険料等が必要な場合は参加者の負担としている。	A	
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	b	少子高齢化や家庭教育の重要性が注目されている。 社会教育への参加者の固定化や減少化。 各種事業等のコロナ禍での開催方法(オンライン、リモート等)の検討。		B	
外部評価							
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい	評価者 1	B		
				評価者 2	B		
Action 今後の事務事業の方向							
⑥	3年度における取組のPRと方向性	家庭教育の重要性の啓発、社会教育振興大会の充実を図り、市民に社会教育の重要性を訴える。 より多くの人に周知し、興味を持ち、事業に参加してもらえるよう、市広報、ホームページ、メール配信等の情報媒体を活用したPRを行う。 また、優れた文化芸術活動や鑑賞機会の提供を推進する。					
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向					
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止
多岐にわたる市民の学習ニーズに応えるために、より充実した事業を展開や協働による事業の実施を推進する。 また、市民文化の向上を図り、文化芸術活動の発表・鑑賞機会への参加を促す。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		青少年健全育成費					所管課等	部 局	教育委員会		
								課等・班	社会教育課・社会教育推進班		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					電話番号	443-1464	内線	
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街					E-mail	shakvo@city.yachimata.lg.jp		
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	青少年の健全育成					地域ぐるみの育成活動・青少年健全育成事業の推進 こども110番事業の支援・青少年犯罪の防止			
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (こども110番推進委員会)					実施根拠	社会教育法			
	直接の対象者 (～に対して)	市民・こども110番推進委員会					最終的な受益者	市民			
事業目的 (～という状態にするために)	青少年教育及び啓発活動とおして市民による青少年の健全育成を推進する。 また、子どもたちに対する犯罪を未然に防ぎ、緊急避難場所を確保する。 さらに、子どもたちの調和のとれた人間形成を図るとともに市民の憩いの場を提供するため、自然体験型の学習機会を提供する。										
具体的な事業内容 (～を行う)	青少年教育事業、青少年相談員の委嘱、市民に対する啓発活動等。 協力世帯募集、看板作成支援及び協力世帯に対する保険加入による、こども110番事業の支援。 子どもと大人と一緒に行うタケノコ掘り体験施設及び市民に親しまれる施設(憩いの場)とするためのこの里の維持管理。 学校の空き教室を利用した、放課後における子どもの居場所づくりと学習支援を目的とした、児童クラブとの一体型の放課後子ども教室を実施する。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	青少年健全育成								
			青少年の素行改善								
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	30年度	元年度	2年度	令和3年度(目標)				
	事業の実績	1	青少年相談員主催事業の実施	事業	2	2	中止	3			
		2	放課後子ども教室開設数	教室	3	5	5	5			
		3	通学合宿の実施	回	2	1	中止	中止			
		4	成人式の実施	回	1	1	1	1			
		5	こども110番の家協力募集チラシ配布数	枚	1,057	923	中止	1,000			
		6	タケノコ掘り体験学習期間の実施日数	日	36	30	中止	30			
	事業の効果	1	夏休み交流会の参加者数	人	1,171	1,502	中止	100			
		2	少年少女のつどい大会参加者数	人	悪天中止	46	中止	50			
		3	放課後子ども教室参加者数	人	192	1,980	2,814	2,800			
		4	通学合宿の修了者数	人	40	20	中止	中止			
		5	成人式の参加者数	人	591	572	オンライン開催	700			
		6	こども110番の家協力世帯数	世帯	1,940	1,930	1,930	1,930			
		7	タケノコ掘り体験者数	人	299	303	中止	90			
事業効果に関する外部要因	少子化に伴う対象者数・参加者数の減少。健全育成事業及び啓発活動の実施に当たっては、青少年相談員やボランティアの協力が不可欠。こども110番事業は、市小中学校PTA連絡協議会による取り組み。 タケノコ掘りの体験学習は、タケノコの発育状況により期間を短縮せざるを得ない場合がある。										
事業効果の総合分析 (達成できたこと)	新型コロナウイルス感染症の影響により事業の大半が中止となった。 こども110番支援事業では、市P連により登録件数の見直しを行った。 新型コロナウイルス感染症の対策を講じた上で、2学期より放課後子ども教室を開講できた。 青少年健全育成事業として市内の市立幼稚園、小・中学校へ消毒液を配布した。 成人式は新型コロナウイルス感染症の影響により、会場開催は中止し、オンライン配信での開催とした。										
④ 事業コスト	区分		単位	30年度	元年度	2年度	令和3年度(目標)				
	(最終) 予算額		千円	4,852	6,392	6,108	4,729				
	決算額		千円	4,569	4,847	4,999	4,729				
		特定・その他財源()	千円	1,158	1,310	1,235	1,840				
		一般財源	千円	3,411	3,537	3,764	2,889				
2年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		報償費	1,575	需用費	1,640	役員費	677				
		委託料	537	賃借料	83	備品購入費	27				
		負担金及び補助金	460								

Check 事務事業の評価					
	区分		一次評価	判定理由	二次評価
	⑤ 事務事業 の評価	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	次代を担う青少年を健全に育成することは社会全体が必要としている。児童・生徒を凶悪犯罪から守ることは社会的な課題であり、こども110番の家制度の意義は大きい。たけのこの里は自然体験施設として利用者からは好評である。放課後子ども教室の申込者は増加している。
市の関与は妥当ですか			b	青少年の健全育成は社会的な課題である。学校・家庭・地域の連携を図り、市が各種施策を展開することは妥当である。ただし、たけのこの里の管理運営方法については検討を要する。	
有効性		期待された効果は得られていますか	b	新型コロナウイルス感染症の影響により事業の大半が中止となったが、青少年相談員による市内の市立幼稚園、小・中学校へ消毒液を配布した。新型コロナウイルス感染防止対策を講じて、2学期より放課後子ども教室を実施できた。こども110番の家の登録件数の見直しを行った。成人式は、会場開催は行えなかったが、オンライン配信での開催は行えた。	B
効率性		事業の効率性を高められますか	b	コロナ禍の中で関係団体や指導員の協力を得ながら必要最小限の予算で各種事業を実施している。こども110番支援事業では、市PTA連絡協議会や学校と連携することで事業の効率化を図っている。周知看板の交換作業等を職員が実施することで経費節減に努めている。たけのこの里管理費については、委託料の減額に伴い職員による直営作業を実施している。放課後子ども教室指導員の病欠等の場合は、その代替えを職員が対応している。	B
公平性		事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし 放課後子ども教室の負担金として、保険料を徴収している。その他は公平性に問題はない。	A
総括評価		総括及び事業実施上の課題	b	青少年を取り巻く環境の変改への対応。こども110番支援事業では「こども110番の家」の看板を掲げることで地域の防犯意識の高さを示し、犯罪抑止効果を発揮している。タケノコ掘りは体験者には好評であるが、体験期間以外の時期の活用方法が課題である。また、市の関与のあり方に検討を要する。放課後子ども教室の市内小学校全校での開講が課題である。(現在9校中5校)各種事業等のコロナ禍での開催方法(オンライン、リモート等)の検討。	B
外部評価					
	評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1 評価者 2	B B
Action 今後の事務事業の方向					
⑥	3年度における取組のPRと方向性	青少年健全育成の重要性を認識するための啓発運動を実施するとともに、子どもを対象とする各種事業の周知に努める。こども110番支援事業では、登録件数を見直し、市民への周知を図る。また、周知看板の劣化状況確認等を実施する。放課後子ども教室を含めた、地域学校協働活動の推進に努める。コロナ禍での成人式の開催方法の検討。(2部制、オンライン開催等)			
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 学校・家庭・地域が連携した地域とともにあゆむ学校づくり推進支援事業の充実。(地域学校協働活動、学校運営協議会、放課後子ども教室等) こども110番の家協力世帯を拡充することにより、安全で安心なまちづくりの推進を図る。 たけのこの里の維持管理では、職員による作業が増大し、効率性を欠いている。市としての活用方法を検討する必要がある。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		文化財保護費						所管課等	部 局	教育委員会	
									課等・班	社会教育課・文化財班	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1464	内線
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	shakyo@city.yachimata.lg.jp	
		具体的施策	文化財の保護・継承								
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	文化財保護意識啓発活動・指定文化財の拡充			
	実施方法	■ 直接実施 ■ 業務委託 ■ 補助金交付 ■ 負担金 ■ その他 (文化財ボランティアとの協働事業)						実施根拠	文化財保護法 千葉県文化財保護条例 八街市文化財保護に関する条例 外		
	直接の対象者 (〜に対して)	①市民、土木工事等を行う者、文化財 ②市指定文化財所有者・管理者・保持者						最終的な受益者	市民		
事業目的 (〜という状態にするために)	市民文化向上・発展のため、文化財の保護・活用・継承を図る。										
具体的な事業内容 (〜を行う)	○指定文化財等の指定・管理・活用 ○埋蔵文化財の取扱い(照会・発掘調査等) ○各種文化財の保護 ○市指定無形民俗文化財保持者への支援 ○文化財ボランティアの育成及び活動支援 ○市民へ郷土の歴史・文化を学ぶ機会の提供										
② 市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	○指定文化財等の指定・管理・活用 ○文化財ボランティアの育成及び活動支援									
		・指定文化財(史跡・記念物)に関する管理等に重点を置くよう要望がある。 ・文化財ボランティアを積極的に活用するよう要望がある。									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)				
	事業の実績	出前講座の実施	回	11	9	0					
		文化財保護周知用立看板年間設置数	基	2	2	4	1				
		埋蔵文化財の取扱い(確認等)	件	162	183	189					
	事業の効果	出前講座の年間受講者数	人	268	227	0					
		文化財保護周知用立看板の総設置数	基	77	77	77	78				
各種指定文化財の保存・整備活動数		回	20	19	20	19					
事業効果に関する外部要因	・埋蔵文化財の取扱いや発掘調査等の件数は、民間の開発事業と実施箇所に依存するため、年度による件数の増減は流動的となっている。 ・R2年度の文化財保護周知用立看板の設置数は4基であるが、4基とも既存看板の劣化による修繕設置のため、総数は現状維持となっている。 ・新型コロナウイルス流行のため出前講座や文化財整備におけるボランティアの活用・協働を中止し、R3年度の出前講座の実施も困難と判断した。										
事業効果の総合分析 (達成できたこと)	①文化財の指定に向けて整備を進めている「こえっばの弁天遺跡」の発掘調査成果の基礎整理を実施した。 ②文化財の指定に向けて整備を進めている「御成街道跡」についてはR3年度実施の発掘調査に向けた地形測量と予備調査を実施した。 ③埋蔵文化財の取扱い等について、土木工事等を実施する事業者に対し適切な指示・協議を行い、円滑に事業を推進している。 ④文化財周知看板において、従前では損壊に近い状況になってから、交換・修繕等を実施していたが、長寿命化を目的とした計画を策定するため北部方面の同看板の状況調査を実施し、それに基づいた修繕を行った。										
④ 事業コスト	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)				
	(最終)予算額		千円		2,650	3,942	3,927	3,764			
	決算額		千円		2,092	3,608	3,504	3,764			
		特定・その他財源()	千円			1,250	1,250	1,250			
		一般財源	千円		2,092	2,358	2,254	2,514			
2年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			報酬	26	需用費	64	負担金及び補助金 77				
			報償費	0	委託料	3,263	役務費 10				
			旅費	0	賃借	64					

Check 事務事業の評価					
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	法・条例に基づく事務・調査の他、行政のみが実施可能な業務が大半である。また、郷土の歴史を知り、文化財を保護することは、国民の文化の向上・発展のために必要不可欠であるため業務の必要性は高い。	A
		市の関与は妥当ですか	a	文化財の規模等を勘案しながら実施しており、埋蔵文化財保護事業等、法・条例に基づく事業に関しては教育委員会が実施すべきものと規定されており、市の関与は法的にも妥当なものである。また、大規模な事業に対しては国庫補助を活用しながら複数年度で段階的に実施するなど、財政状況を加味しながら対応している。	
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	国庫補助金等を活用した史跡整備事業において、十分な調査成果等を上げることができている。また、埋蔵文化財行政等、法・条例に基づく事業については滞りなく推進している。文化財の保存・活用事業においても、他市町との連携等により、効果的に上位施策である市民文化の継承に寄与している。	A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	R2年度における出前講座・ボランティア活動支援等はキャンセル・中止となったが、わずかな保険料以外の支出はない。複数年度に渡る史跡整備においては市教委負担が大きくなることから、県担当者との協議を持ち、令和元年度から国・県の補助金(補助率62.5%)を導入している。	A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし 多くの業務が市・県・国民の利益に繋がるものであり、公平性は極めて高い。また、埋蔵文化財行政においても原因者に対して、現場の環境整備・現状復帰・本調査費用等、応分の負担をお願いしている。	A
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	文化財の保存・活用及び法・条例に基づく事務・調査については、予算規模を考慮しながら実施している。他方、市民の文化財等に関する認知度を向上させるため、ボランティアの活用や出前講座等を実施してきたが、R2年においては新型コロナウイルス流行により中止を余儀なくされたが、収束後に遅延なく再開できるよう準備を進める。	A
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1 A 評価者 2 A	
Action 今後の事務事業の方向					
⑥	3年度における取組のPRと方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・複数年度にまたがり史跡の指定に向けた調査・整備を推進中であり、令和3年度は指定予定の史跡の発掘調査を伊藤都市文化財センターに委託業務として実施するとともに、その後の整備事業について関係者・諸機関等と調整を進める。また、5年毎に予定している報告書の刊行(令和4年度予定)に向けて、整理・公刊するための体制を整える。 ・文化財班として、課内のみならず、文化財の指定を郷土資料館の誌上企画展とタイアップさせて実施する予定であり、双方の事業に効果的・効率的な事業(計画)を推進する。 			
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 <ul style="list-style-type: none"> ・史跡保護を目的とした発掘調査・整備等を実施しながら、指定文化財の拡充を図る。併せて、指定後の整備計画についても進める。 ・埋蔵文化財の取扱い等については法・条例に基づいて進めており、現在の体制・対応を維持できるよう、事業者等へ理解と協力を求めている。また、報告書についても5年毎の定期的な刊行を継続して遂行する。 ・文化財に対する市民の理解・認識を深めるために、文化財周知用立看板や各種広報を活用しながら周知を進めるとともに、新型コロナウイルス収束後には各種出前講座を進めながら、文化財ボランティア等を活用した官民協働での保護意識・体制づくりを推進する。 			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を伺ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	中央公民館管理運営費						所管課等	部 局	教育委員会	
								課等・班	中央公民館・管理事業班	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				E-mail	電話番号	443-3225	内線
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	社会教育活動の推進							
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	中央公民館の学習環境整備		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	社会教育法 八街市公民館の設置及び管理に関する条例			
直接の対象者 (～に対して)	市民					最終的な受益者	市民			
事業目的 (～という状態にするために)	公民館は、地域の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。									
具体的な事業内容 (～を行う)	学術及び文化に関する各種講座、イベント事業等の開催。 公民館運営審議会において事業の企画実施等につき調査審議。									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
			施設の老朽化が著しく、市民から備品等の整備要望が出ている。							
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	31年度	元年度	2年度	3年度(目標)			
	事業の実績	1	学術及び文化に関する各種講座の開催	回	20	15	3	5(オンライン)		
		2	こうみんかん祭	回	1	0	0	0		
		3	ひまわり絵画展	回	1	1	0	0		
	事業の効果	1	主催事業参加人数(延べ人数)	人	1,487	1,131	1,057	1,000(オンライン)		
		2	来館者数	人	4,727	中止	中止			
		3	出展者数	人	1,164	1,207	中止			
事業効果に関する外部要因	新型コロナウイルス感染拡大防止による休館(令和2年4月17日から令和2年5月31日)や、貸館の停止(令和2年3月7日から令和2年4月16日、令和3年1月16日から令和3年3月31日)及び大会議室棟屋根改修工事により各講座や事業を中止。									
事業効果の総合分析(達成できたこと)	新型コロナウイルス感染拡大防止による休館などがあり、講座・イベントが中止となった。しかし、コロナウイルスとの共存を意識した新たな学習スタイルを構築。動画配信による学習講座を企画し、2講座を配信合計1,057回視聴があった。									
④ 事業コスト	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)			
	(最終)予算額		千円		23,293	21,814	17,642	19,627		
	決算額		千円		22,585	20,866	13,611			
		特定・その他財源(使用料)	千円		2,633	1,819	465			
		一般財源	千円		19,952	19,047	13,146			
2年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			需用費	5,707	使用料及び賃借料	827				
			委託料	6,000	備品購入費	413				

Check 事務事業の評価							
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価		
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市内唯一の公民館として実際の生活に即する各種事業を行い、日常生活に密着した総合的な社会教育施設として必要不可欠である。		A	
		市の関与は妥当ですか	a	社会教育法で公民館の目的・事業が示されており、実際生活に即する教育、学術、文化に関する各種事業を市として行うことは妥当である。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	すべての市民を対象としているため効果はあると思われる。しかし、2年度においては、新型コロナウイルス感染拡大防止により公民館に集まる講座の実施が出来ないことから、動画配信による学習講座を企画し、新たな学習スタイルでの提供。		B	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	各種研修会への参加、初任職員研修会等の受講により職員の専門性を高めて、事業の効率性を高めていくことができる。		A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	公民館の運営に関する事業計画は公民館運営審議会の意見を聞いて教育委員会が決定している。また、受講者から材料に係る経費は徴収し、受益者負担としているため適切である。	A	
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	b	新型コロナウイルス感染拡大防止により公民館に集まる講座の実施が中止となり、代替えとして動画配信による学習講座を企画実施した。コロナウイルスとの共存を意識した新たな学習スタイルでの提供。なお、活動団体の公民館離れが懸念される。		B	
外部評価							
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい	評価者 1	B		
				評価者 2	B		
Action 今後の事務事業の方向							
⑥	3年度における取組のPRと方向性	新型コロナウイルス感染症集団予防接種会場となっているため、本来実施すべきイベントや講座等が中止となる。公民館が地域における住民同士の交流や社会教育の拠点であることを踏まえ、館に来館しなくても従来行ってきた講座を在宅でも受講することが出来るよう、動画配信による講座を昨年度に引き続き実施、新しい学習スタイルでの提供を図る。					
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向					
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止
		生涯学習活動の場を提供し、教育・文化活動を展開するのは公民館の重要な役割である。今後も、中央公民館・図書館・郷土資料館の在り方基本構想を踏まえ、研修会等への積極的な参加により職員の専門性・資質の向上や市民ニーズや時代にあった主催事業を展開するとともに、公民館が地域づくりの拠点となるような事業の展開を図ります。					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
① 事務事業の概要	事務事業名	中央公民館整備事業費						所管課等	部 局	教育委員会	
	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				課等・班		中央公民館・管理事業班		
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街				電話番号		443-3225	内線	
		実施計画	開始	2020	終了	2024	E-mail		c_kominkan@city.yachimata.lg.jp		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	社会教育法 八街市公民館の設置及び管理に関する条例		
	直接の対象者 (～に対して)	市民						最終的な受益者	市民		
	事業目的 (～という状態にするために)	社会教育・生涯学習の拠点として重要な役割を果たしている中央公民館を、市民が安全で安心して利用できるようにするために施設の計画的な修繕及び改修を行う。									
	具体的な事業内容 (～を行う)	・大会議室棟屋根改修工事実施設計業務委託 ・大会議室棟屋根改修工事監理業務委託 ・大会議室棟屋根改修工事 ・自動火災報知設備更新工事 ・屋外消火栓ポンプ交換工事 他									
	② 市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	施設の老朽化が著しく、市民から施設の改修整備要望が出ている。								
	Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)				
	事業の実績	1	設計監理業務等	件	1	0	2	2			
		2	施設等改修工事	件	6	3	9	1			
		3									
	事業の効果	1	設計監理業務等	千円	1,080	0	3,222	4,733			
		2	施設等改修工事	千円	29,723	3,680	33,027	31,768			
		3									
		4									
	事業効果に関する外部要因										
	事業効果の総合分析 (達成できたこと)		工事に伴う設計・監理・工事の事務手続きを迅速に行い、利用者・市行事にできる限り影響が少ない期間で工事を完成することができた。								
④ 事業コスト	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)				
	(最終)予算額		千円		51,759	3,680	37,001	36,501			
	決算額			千円		30,803	3,680	36,250			
		特定・その他財源(使用料)		千円		19,500	0	26,800			
		一般財源		千円		11,303	3,680	9,450			
	2年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			委託料	3,222						
			工事請負費	33,027							

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市内唯一の公民館として市民の生活文化振興上、必要不可欠である。		A
		市の関与は妥当ですか	a	社会教育法で公民館を設置し、市民への生涯学習の場を提供し、社会教育事業を行う団体を支援することが規定されている。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	公民館は、市民の生活文化振興上、必要不可欠であり施設の早期改修・計画的な改修は最も有効な手段である。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	施設の老朽化は進んでいるが、計画的に施設を改修することにより事業の効率性を高めることができる。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	整備事業については、その効果を考慮しなければならず、コスト削減は難しい状況にあるが、老朽化した施設補修に関し緊急性の高いものから計画的に改修を実施している。	A
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	中央公民館は、開館から41年(昭和54年11月)余り経過し、施設改修費等、今後数年間は多大な財源が必要となる。また、公民館にかわる文化施設が市内に無いことから、改修に伴う施設の休館等で市民の文化活動にも影響が出る恐れがある。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	3年度における取組のPRと方向性	新型コロナウイルス感染症集団予防接種会場となっているため、今年度の主な工事等が先送りとなる。しかし、コロナウイルスによる社会教育への重大な影響また、経済活動の停滞など大変な状況を鑑みると、公民館再開と併せ工事等の先送りはやむを得ない。				
	事務事業の今後の方向性	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了				
		開館から40年余り経過し施設や設備の老朽化が著しいことから、八街市教育施設長寿命化計画・中央公民館・図書館・郷土資料館の在り方基本構想・八街市公共施設等総合管理計画を踏まえ、計画的な施設整備を図ります。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
①事務事業の概要	事務事業名	図書館管理運営費(施設の維持管理等)						所管課等	部 局	教育委員会	
	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				課等・班		図書館・管理班		
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街				電話番号		444-4946	内線	
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業		E-mail toshokan@city.yachimata.lg.jp		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	図書館法・八街市立図書館設置条例 八街市立図書館の管理及び運営に関する規則			
	直接の対象者(〜に対して)	市民及び市内在勤・在学者					最終的な受益者	市民及び市内在勤・在学者			
	事業目的(〜という状態にするために)	市民が利用しやすい図書館としての環境整備・維持管理									
具体的な事業内容(〜を行う)	・契約事務：清掃、警備、自動ドア保守点検、小荷物用昇降機保守点検等の委託業務など契約事務を行う ・会計処理：備品購入、機器の賃借、複写機、トイレ洗浄・静菌システムの賃借、書誌データ使用料などの会計処理を行う ・施設、設備等の簡易な修繕、維持管理を行う ・図書館協議会の開催 ・統計調査の回答を行う										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	開館日数、開館時間の延長要望が多い								
Do 事務事業の実施											
③実績・成果	事業の実績	区分	単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)				
		1	各種業務委託件数	件	9	10	10	10			
		2	各機器等の賃借・使用件数	件	6	8	6	7			
		3	施設、設備の修繕件数	件	16	5	11	4			
		4	図書館協議会	回	2	1	2	2			
	事業の効果	安心・安全な読書環境を維持することができた 施設・設備の老朽化によるサービスの低下を修繕により回復した									
事業効果に関する外部要因											
事業効果の総合分析(達成できたこと)	新型コロナウイルス感染症対策を適切に行い、安心・安全な読書環境を早急に整えることにより、利用者に対して快適なサービスを提供することができた。また、定期契約事務などを計画的に行い、遅滞なく事業をすすめることができた。										
④事業コスト	区分	単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)					
	(最終)予算額	千円		34,511	29,520	21,499	23,992				
	決算額		千円		34,133	28,253	18,737				
		特定・その他財源()	千円			217	0				
	一般財源	千円		34,133	28,036	18,737					
2年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)	報酬	46	使用料及び賃借料	6,827							
	需用費	6,396	負担金補助及び交付金	87							
	委託料	5,247	公課費	97							

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	快適な読書環境の整備、維持、継続に努めるとともに、すべての市民が等しく図書館サービスを受けられるよう生涯学習施設としての機能を求められている。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	市が直接関与するよう法律や条例で定められた公共施設であり妥当である。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	図書館運営、管理について、概ね期待通りの成果を得られている。		A			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	新型コロナウイルス感染症対応に追われつつも、限られた事業費の中で最大限の成果を得るために、予算流用を適切に行い施設の維持管理に努めた。		A			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	公平性に問題はないが、公の財産に係る経費の適切な負担の在り方の観点から、サービスを受ける者に一定の負担を求めている。今後も、社会情勢を鑑みながら対価不徴収の原則を維持しつつ、一定の場合に受益者の負担を求めることについて、その適否を適宜検討する必要がある。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	生涯学習の場として、安心・安全な環境のもと、利用者の視点に立ったサービスを提供した。		A			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	3年度における取組のPRと方向性	生涯学習施設として適切な読書環境と新型コロナウイルス感染症対策など利用者が安心してサービスを利用できる環境を提供する。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		今後も図書館としての快適な環境整備の維持、継続に努めるとともに、すべての市民が等しく図書館サービスを受けられるよう生涯学習施設としての機能を充実を図っていきたい。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名		図書館管理運営費(資料収集、読書の普及、利用促進)						部 局	教育委員会	
								課等・班	図書館・奉仕班	
								電話番号	444-4946	内線
								E-mail	toshokan@city.yachimata.lg.jp	
①事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	社会教育活動の推進							
		実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	図書館機能の充実		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	図書館法・八街市立図書館設置条例 八街市立図書館の管理及び運営に関する規則	
直接の対象者(〜に対して)	市民及び市内在勤・在学者						最終的な受益者	市民及び市内在勤在学者		
事業目的(〜という状態にするために)	地域の情報拠点として全ての市民が、図書館サービスを受け、必要な資料や情報を入手できるサービスの展開により、市民の情報リテラシーの向上と情報格差の是正を図る。また、子どもに対しては読書習慣の習得のため子どもの読書活動推進計画に基づき、年齢に応じた子どもの読書環境(人的環境も含む)の整備を図る。									
具体的な事業内容(〜を行う)	市民が自律的に判断、行動するために必要とする資料の計画的な収集と、市民一人一人に対応した適切な提供を行う。これらの資料を効率的に入手し活用するために、市民と資料を結びつける検索機能とレファレンスブックやデータベース、インターネット上の情報検索により司書が調査研究の援助を行う。子どもの読書習慣習得のため、図書館内外でのおはなし会や保護者への働きかけを行う事業の充実とさらなる図書館利用の促進のため映画会等、集会事業を実施する。図書館に来館しにくい地域の高齢者や子どもなどの交通弱者のために移動図書館事業を行うとともに、障がい者への郵送サービスや宅配、対面朗読も新型コロナウイルス感染症の収束状況を考慮し要請に応じ実施する。また、地域の読書活動を支援するため、団体貸出や団体の事業に司書を派遣する。									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	令和2年12月に実施した利用者満足度アンケートでは、コロナ禍で実施できなかったライブライオンコンサートなど事業の再開、新刊書や専門書の充実、施設のバリアフリー化、乳幼児を連れてきやすい環境整備、DVDやCD、雑誌のタイトル数などの増加、移動図書館については、認知度の低さ、利用可能時間や蔵書の拡充等が挙げられた。							
Do 事務事業の実施										
③実績・成果	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)			
	事業の実績	1	図書購入冊数	冊	7,006	6,217	5,881	6,600		
		2	おはなし会の開催数	回	72	59	25	48		
		3	講座、映画会の開催数	回	242	175	60	100		
		4	電子書籍の購入数	冊	-	-	-	1,000		
	事業の効果	1	図書貸出冊数	冊	282,495	238,779	196,366	200,000		
		2	おはなし会の参加者数	人	865	695	168	240		
		3	講座、映画会の参加者数	人	2,325	1,638	171	200		
		4	司書派遣事業参加者数	人	1,856	1,397	430	500		
		5	図書館ホームページの閲覧数	回	41,703	43,582	43,582	50,000		
事業効果に関する外部要因		緊急事態宣言の発令により、休館や制限付きの利用、講座等の中止や人数制限付きの開催を余儀なくされ、また利用者自身の意識の問題もあり、図書館サービスの提供に支障を来した。								
事業効果の総合分析(達成できたこと)		利用者満足度アンケートを実施し、図書館の利用者を中心とした満足度や要求をある程度知ることができた。移動図書館については、巡回している小学校も一般の利用者もコロナ禍の状況下であっても開放的な屋外であるためか、本館の利用と比べて利用が多かった。								
④事業コスト	(最終)予算額		千円	13,528	12,473	12,534	12,508			
	決算額		千円	13,475	12,449	12,461				
		特定・その他財源()	千円	1,574	3,854	2,037				
		一般財源	千円	11,901	8,595	10,424				
	2年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報償費	22	役務費	829				
		旅費	3	備品購入費	10,298					
		需用費	1,309							

Check 事務事業の評価							
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価		
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	コロナの影響で休館や利用に制限がかかることが多くなってしまったことに対して、なるべく開館して欲しかった、予約本の受け取りだけでもできれば良かった、休館していてもできるサービスをして欲しかったなどのサービスを求める声が多く寄せられた。		A	
		市の関与は妥当ですか	a	図書館は市民のだれもが利用でき、生涯学習を支える社会教育施設であり、今後さらに広がる市民の情報格差の是正や図書館利用に支障のある人へのサービスを他の部署と連携しながら実施するなど、市の関与は妥当であり、必要である。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	開館できるようになり、次第に8割程度の利用が戻ってきた。映画会やおはなし会等への参加も徐々に回復しつつある。		B	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	経費の節減に努めるとともに、効率的な予算執行を行っている。		A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	公立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対するいかなる対価をも徴収してはならない。(図書館法第17条)	A	
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	b	コロナ禍により家で過ごす時間が増えたことで、読書をする人や一人当たりの読書量も増加していると推測され、新規登録者や沢山の資料を借り出す利用者も見受けられた。令和3年度より実施する電子図書館サービスは非来館型であり、今後の図書館サービスの方向性について考察していきたい。		B	
外部評価							
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	B		
				評価者 2	B		
⑥							
3年度における取組のPRと方向性		図書館の基本的なサービス内容、既存の各種事業、7月1日より実施の電子図書館サービス等について市と図書館のホームページを有効に活用するとともに、やちまた配信サービス、図書館ツイッター、広報やちまた等それぞれの年代に応じたPRを効果的にしていきたい。					
事務事業の今後の方向性		取り組み方向					
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止
		電子書籍を含めた資料のさらなる充実と、利用者アンケートを定期的の実施することにより、利用者の満足度や要求を知り事務事業を精査していく。第2次子どもの読書活動推進計画策定の準備や図書館サービス全体のあり方、移動図書館業務について基本にかえり検討したい。					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
① 事務事業の概要	事務事業名	図書館整備事業費						所管課等	部 局	教育委員会		
	(八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						課等・班	図書館・管理班		
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						電話番号	444-4946	内線	
		具体的施策	社会教育活動の推進						E-mail	toshokan@city.yachimata.lg.jp		
	実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	図書館機能の充実					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	図書館法・八街市立図書館設置条例 八街市立図書館の管理及び運営に関する規則			
	直接の対象者 (～に対して)	市民及び市内在勤・在学者						最終的な受益者	市民及び市内在勤・在学者			
	事業目的 (～という状態にするために)	生涯学習を支える拠点として重要な社会教育施設である図書館を、市民が安全で安心して利用できるようにするために施設の計画的な修繕及び改修を行う。										
	具体的な事業内容 (～を行う)	・高天井照明及び非常灯改修工事設計業務										
	②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	老朽化した施設への改善要望(照明設備、インターロッキング、トイレの洋式化)が寄せられている。								
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)					
	事業の実績	1	工事設計業務	件	0	1	1	1				
		2	設計監理業務	件	0	1	0	1				
		3	施設等改修工事	件	0	3	0	1				
	事業の効果	1	工事設計業務	千円	0	2,689	1,078	2,172				
		2	設計監理業務	千円	0	2,178	0	1,166				
		3	施設等改修工事	千円	0	61,713	0	21,263				
		4										
	事業効果に関する外部要因											
	事業効果の総合分析 (達成できたこと)		高天井照明及び非常灯改修工事設計に係る協議を適切に行い、期間内に設計を完成することができた。									
④ 事業コスト	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)					
	(最終)予算額		千円		0	73,323	1,078	24,601				
	決算額		千円		0	69,151	1,078					
		特定・その他財源(使用料)	千円		0	55,300	800					
		一般財源	千円		0	13,851	278					
2年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			委託料	1,078								

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	図書館は、市民の知る権利を保障する重要な社会的基盤として生涯学習を推進するうえで必要不可欠な施設である。		A
		市の関与は妥当ですか	a	現代社会は知識基盤社会であり、市民の課題解決を支える拠点としての図書館の役割は重要性を増しており、サービスを提供するための施設を市が維持管理することは妥当である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	老朽化した施設の早期改善・計画的な改修は最も有効な手段であり、概ね期待通りの成果を得られている。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	総合計画や長寿命化計画等の改修計画を元に事業をすすめることにより、効率性を高めることができている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	計画的に改修を進めているが、突発的な修繕工事が必要になるケースが増え、費用が増加傾向にある。調達には一般競争入札を基本としてコストの削減を図っている。	A
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	令和2年度は高天井照明及び非常灯改修工事の実施設計を行った。次年度に工事を実施するため、関係各課や設計事務所との調整を行い事業を完了し、予算化した。老朽化による修繕箇所が増加は市全体にいえることであり、修繕の優先順位、予算の確保等関係各所との調整が一層求められる。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	3年度における取組のPRと方向性	市民が図書館をに安心安全に利用できる環境整備とサービスの提供を確保する。また、館内高天井照明及び非常灯の改修工事を滞りなく進めたい。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向				
		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	経年劣化に伴い修繕箇所が多くなっている。総合計画、長寿命化計画等に沿って改修工事を進める。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
① 事務事業の概要	事務事業名	視聴覚教材費						所管課等	部 局	教育委員会		
									課等・班	図書館・管理班		
	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	444-4946	内線	
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	toshokan@city.yachimata.lg.jp		
		具体的施策	社会教育活動の推進									
	実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業		図書館機能の充実				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 八街市立図書館の管理及び運営に関する規則			
直接の対象者 (〜に対して)	市民・教職員関係者・青少年相談員・団体関係者など						最終的な受益者	市民				
事業目的 (〜という状態にするために)	視聴覚教育を推進し、学校教育及び社会教育を充実し、市民の文化向上を図る。											
具体的な事業内容 (〜を行う)	・視聴覚機材・教材の購入整備及び維持管理											
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)					
	事業の実績	機材の購入	台	2	6	3	2					
		教材の購入	本	6	0	1	1					
	事業の効果	機材貸出件数	件	465	283	107	100					
		教材貸出件数	件	22	13	14	10					
	事業効果に関する外部要因	新型コロナウイルス感染症により各団体での機材教材の利用が減少したと考えられる。										
事業効果の総合分析 (達成できたこと)	視聴覚機材については適正な管理、維持により、必要とされる機材を必要としている団体に提供することができた。											
④ 事業コスト	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)					
	(最終)予算額		千円		355	339	309	309				
	決算額			千円		316	150	194				
		特定・その他財源()	千円									
	一般財源		千円		316	150	194					
2年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		需用費		19								
		備品購入費		175								

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価			
	必要性	市民からのニーズは高いですか	b	特に、官公庁、ボランティア団体等各種団体からのニーズは高い。		B			
		市の関与は妥当ですか	a	他に類似サービスを提供する機関がないため適切である。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	c	機材については、ほぼ期待どおりの貸出効果であるが、教材の貸出効果は薄い。		C			
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	事業効率の向上については平成30年度に図書館業務として統合を図った。		B			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市全体の社会教育を推進するうえで、公平性に問題はない。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	b	利用団体等の要望を維持するため、事業の必要性を認め、図書館業務として事業を継続していく。		B			
	外部評価								
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	B				
				評価者 2	B				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	3年度における取組のPRと方向性	機材・教材の有効活用を図るとともに、魅力ある視聴覚機材及び教材を収集するための選定資料を確保し管理運営に努める。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input checked="" type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		内容が古くなった教材・老朽化した機材の整理を行うとともに、人口減少、少子高齢化に見合った事業内容とするため機材の更新計画を策定したい。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
① 事務事業の概要	事務事業名	郷土資料館管理運営費					所管課等	部 局	教育委員会			
	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					課等・班	郷土資料館			
		施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街					電話番号	443-1726	内線		
		具体的施策	文化財の保護・継承					E-mail	kvodo@city.yachimata.lg.jp			
	実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	郷土資料館の充実					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	地方教育行政の組織及び運営に関する法律・社会教育法・博物館法・八街市郷土資料館設置条例				
	直接の対象者 (〜に対して)	市民のみならず、来館される全ての方々					最終的な受益者	市民及び来館者				
	事業目的 (〜という状態にするために)	市内外の方々から寄贈・寄託された各種資料や、発掘調査等で得られた考古資料を広く公開し、市民の郷土への関心やふるさと意識が深まること、そして調査・研究に寄与することを目的とする。										
	具体的な事業内容 (〜を行う)	<ul style="list-style-type: none"> 郷土資料館の解体 市内小学校への出前授業 川上小学校の余裕教室を利用した昔の道具展示教室の製作 収蔵資料の保存整理作業 令和3年度から再開する常設展示の設営準備 										
	② 市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	来館者等からの意見、「八街市郷土資料館の今後の在り方に関する要望書」 ・(資料館解体中)新たな建物が建てられるのか、是非とも新資料館を建設して欲しい。 ・収蔵資料は「市民の財産」であるからこそ、適正な施設で管理の下、市民にとって有益な活用が常に来るように、一体化した施設が望ましい。 ・まちづくりの拠点、観光の拠点ともなり得る郷土資料館の将来性を考えたとき、新規に郷土資料館を建設することは重要になってくる。									
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)					
	事業の実績	企画展の開催数	回	1	0	0	1					
		郷土資料館の団体見学	回	6	5	0	0					
		市内各学校への出前授業	回	5	10	1	15					
	事業の効果	年間の来館者数	人	2,751	1,680	264	1,680					
		企画展開催中の来館者数	人	775	0	0	0					
		郷土資料館の団体見学者数	人	263	175	0	0					
出前授業の参加者数	人	366	382	89	382							
事業効果に関する外部要因	昨年度の年間来館者数及び企画展来館者数が減少した要因は、台風15号の影響で、臨時休館としたことによる。 ※2年度の来館者数は、展示観覧者ではなく、問い合わせや取材対応などのレファレンス対応数である。 新型コロナウイルス感染症の拡大により、出前授業の依頼が大幅に減少した。											
事業効果の総合分析 (達成できたこと)	令和2年度は、資料館の建物の解体業務や、令和3年度から中央公民館2階で再開する常設展示の準備等が主な業務となった。中央公民館2階中会議室は、旧資料館展示スペースの1/3の面積であったため、限られたスペースで八街の通史を理解できる展示構成に再構成した。また、展示解説や展示キャプションを以前よりも見やすくするために再作成した。											
④ 事業コスト	区分		単位	30年度	31年度	2年度	3年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	2,982	4,308	6,830	1,862					
	決算額		千円	2,791	4,188	6,806						
		特定・その他財源()	千円	54		4,100						
	2年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)	旅費	3	委託料	568	備品購入費	148					
需用費		359	使用料及び賃借料	170	負担金	5						
役務費		118	工事請負費	5,435								

Check 事務事業の評価							
区分	一次評価	判定理由		二次評価			
		必要性	a		若年層から高齢層まで幅広い年齢層から求められる施設である。また、令和元年の台風被害以後、早期の建て直しを望む意見を受けている。令和2年度は、コロナ禍で出前授業の実施数も減少してしまったが、学校からの依頼は例年と同様に受けている。		
	a	正しい八街の歴史を多くの方々に理解してもらうため、調査・研究成果を常設展示及び企画展示、出前授業・講座に反映できるので妥当と思われる。その他にも蓄積した情報を、広く提供できることから妥当である。					
有効性	d	前年度から続く臨時休館と、令和2年度は建物解体を行ったため、展示物の閲覧・見学ができなかったため大きな効果は得られなかった。					
効率性	a	来館者に満足していただけるよう、限られた予算の中で展示方法などに常に工夫をしている。					
公平性	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	広く一般に無料で開放している施設であり、公平性は保たれている。	A			
総括評価	a	令和2年度は、資料館の解体業務や令和3年度に再開する展示の事前準備の業務が中心となった。また、コロナ感染症の影響もあり、例年行っている出前授業もわずかとなった。令和3年度は、コロナ対策を行った上で来館者数の増加と出前授業の数を増やすこと課題とした。また、再開する場所が中央公民館を借りることから、今後の資料館の方向性を決めることを課題とした。		A			
外部評価							
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A			
			評価者 2	A			
Action 今後の事務事業の方向							
3年度における取組のPRと方向性	令和3年度は、誌面上の企画展を開催することが大きな取り組みとなる。誌上企画展では、郷土資料館収蔵資料の前山清一郎所用陣羽織を市指定文化財にすることを記念し、前山清一郎関係資料の写真資料集を作成する。戊辰戦争や佐賀の乱での活躍や、その後の八街南部の開墾に携わるまで、幕末維新期の前山清一郎についての功績を紹介する記念誌とする。その他、今年度立ち上がる郷土資料館のあり方庁内検討会議のなかで、新資料館のあり方や、移転先などの方向性について具体的に検討していく。						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
	令和3年度から、中央公民館での展示室を再開することとなるが、歴史的資料を保存していく適正な施設でなく、スペースも所蔵資料に対して狭隘であることから、八街市郷土資料館のあり方庁内検討会議の中で、貴重な歴史的財産の有効活用と損失を防ぐための保存設備を兼ね備えた施設の具体的な検討をしなければならない。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名	市史編さん費					所管課等	部 局	教育委員会			
							課等・班	郷土資料館			
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					電話番号	443-1726	内線	
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街					E-mail	kvodo@city.yachimata.lg.jp		
	具体的施策	文化財の保護・継承									
	実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	市史編さん事業				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	公文書館法・公文書等の管理に関する法律 八街市史編さん委員会条例				
直接の対象者 (〜に対して)	市民及び八街の歴史に興味のある方々					最終的な受益者	市民、八街の歴史に興味のある方々				
事業目的 (〜という状態にするために)	八街市内ならびに市外に残されている八街に係る古文書など、全ての史・資料を調査研究し、八街の歴史を解明し深化させることにある。そして、明らかになった八街の歴史を『市史』を含む刊行物、展示を通じて、後世に歴史的遺産として伝えることである。										
具体的な事業内容 (〜を行う)	・八街市史編さん委員会 ・八街市史編さん委員会 近世専門部会 ・八街市史編さん委員会 近現代専門部会 ・八街市史関連の図書の刊行										
② 市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	「八街市郷土資料館の今後の在り方に関する要望書」 展示業務について、令和3年4月から中央公民館の二階中会議室で仮展示を再開するとのことですが、これまでの資料館の約1/3の面積であり、資料館としての機能が十分に発揮される状況ではない。(中略)八街市民憲章に謳われている「郷土を愛し、文化のかけり高いまち」を実現するためにも、早急な郷土資料館の建設を要望いたします。									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	30年度	31年度	2年度	3年度(目標)				
	事業の実績	市史編さん委員会開催日数		日	2	1	2	2			
		近世専門部会開催日数		日	1	1	1	1			
		近現代専門部会開催日数		日	1	1	1	1			
	事業の効果	市史編さん委員会審議件数		件	4	4	4				
		近世専門部会委員のべ活動日数		日	34	44	35	45			
近現代専門部会委員のべ活動日数		日	72	68	3	45					
事業効果に関する外部要因	昨年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言の発令により、半年間活動を停止したため、活動日数が大幅に減少した。										
事業効果の総合分析 (達成できたこと)	近世専門部会は、斎藤芳郎家文書の目録作成、根古谷法宣寺所蔵文書の目録作成及び法宣寺所蔵版木の整理作業及び目録作成作業を行った。その他大谷流秋葉藤一家の蔵調査を行った。近現代専門部会は大関区有文書や前山家文書の目録編成作業を行った。市外調査としては八街関連資料(三井文庫、早稲田大学図書館、国立国会図書館、国立公文書館)の調査・収集を行った。また、『市制施行30周年記念誌』の刊行に向けて、掲載候補写真の分類・スキャニング作業を行った。										
④ 事業コスト	区分		単位	30年度	31年度	2年度	3年度(目標)				
	(最終)予算額		千円		2,643	2,572	1,834	2,560			
	決算額			千円		2,627	2,537	1,609			
		特定・その他財源()		千円			4,100				
	一般財源		千円		2,627	2,537	2,706				
2年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			報酬	46	役員費	675					
			報償費	503	負担金	8					
			需要費	377							

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市内から新たに発見された古文書等について調査研究を進め、八街の歴史説明が深まれば、さらに市民のニーズが高まると思われる。		A
		市の関与は妥当ですか	b	市の歴史を明らかにする作業であるため、直営で実施すべきである。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	平成23年度に「図解八街の歴史」を刊行し、幅広い世代・年齢層の方に八街の歴史について知っていただいた。これは郷土資料館の来館者数の増加の要因の1つといえる。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	現在の人員体制を続ける以上、長期的な展望を持ち、永続的に作業を続ける必要がある。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	事業の成果は八街市史として広く公開されるので、公平性に問題はない。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	年々、市史編さんの対象となる調査研究が進展していることで、八街市に関する史実の発掘が広がりつつあり、展示内容の充実や各種講座に活かすことができる。今後も継続的な取り組みが必要であるが、さらなる調査結果の深化と刊行スピードをあげるためには、全体的に予算不足である。		A
外部評価						
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A
					評価者 2	A
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	3年度における取組のPRと方向性	昨年度に引き続き、近世専門部会では、『八街市史 資料編 近世三』の刊行に向けて古文書の整理作業を進め、近現代専門部会では、『八街市史 資料編 近現代一』の刊行に向け調査研究を進める。事務局側においても各部会の『資料編』で必要となる市内所蔵資料について、悉皆調査を進め、古文書の収集・撮影・整理を進めていく。 その他、今年度は翌年度に迎える市制施行30周年の記念誌を作成する。市制施行30周年記念誌では、明治から現在までの約150年間の八街の発展を、風景写真や記念写真など様々な写真を掲載して読み解く記念誌を作成する。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 『八街市史 資料編』の刊行に必要な郷土資料館収蔵資料の内、整理目録化が進んでいない資料群があり、それらを整理するには現状よりも活動日数の増加が必要と考える。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		八街市ピーナッツ駅伝大会運営費						部 局		教育委員会		
① 事務事業の概要		当該事業が該当する個別計画等		基本構想				課等・班		スポーツ振興課・振興班		
		実施計画		実施計画				電話番号		443-1465 内線		
		実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				E-mail		suposhin@city.yachimata.lg.jp		
		直接の対象者(～に対して)		市民				最終的な受益者		市民		
事業目的(～という状態にするために)		冬季(耐寒)スポーツの一環として実施し、健康増進と体力の向上及びランニングについての関心を高める。走る楽しさや喜びと共に地域融和の発展を図る。										
具体的な事業内容(～を行う)		駅伝大会の実施。 ・一般の部(5区間、21.00km)・高校の部(5区間、21.00km)・中学男子の部(8区間、21.00km) ・中学女子の部(5区間、12.35km)・女子の部(5区間、12.35km)・オープンの部(5区間、21.00km)										
② 市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目										
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果		区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)				
		事業の実績		ピーナッツ駅伝大会	回	1	1	0	1			
		事業の効果		ピーナッツ駅伝大会参加者数	人	388	374	0	460			
				ピーナッツ駅伝大会参加チーム	チーム	63	54	0	80			
事業効果に関する外部要因												
事業効果の総合分析(達成できたこと)		令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止とした。										
④ 事業コスト		区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)				
		(最終)予算額		千円		944	919	0	3,122			
		決算額		特定・その他財源()	千円		849	810	0			
				一般財源	千円		849	810	0			
2年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)												

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	生涯スポーツ推進に対し市民のニーズはたかまっており、参加者数の推移からも必要である。		A
		市の関与は妥当ですか	a	市主催の冬季最大の行事であり、令和3年度で65回となり妥当であるとする。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	令和2年度で第64回の歴史があり、高校及びオープン部の参加チームの増加等からも有効である。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	毎年度、行事前後に関係団体等による会議を開催し、協議検討し、実施を行っている。平成21年度にコース・区間の変更を行い、安全性、効率性を高めてきている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	6部門に分け募集を行い、それぞれの体力に見合うコース・区間設定や障害者の参加受け入れ体制等公平性に問題はない。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	毎年度、前回の反省点を検証し次回大会を実施し今日に至っている。今後、さらに市民のニーズに応えていく。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	3年度における取組のPRと方向性	例年実施しているように、関係団体等の会議はもとより、市広報やホームページ等によりPRを実施。また、八街の特産品の落花生とキャロットジュースのPRについても更なる検討をしていきたい。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 冬季スポーツ行事として最大のイベントであり、継続して実施していく。コース等の見直しなど、現状を把握し、各関係団体の協力を得て、一層の活性化を図ることが必要である。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名		学校開放推進費						所 管 課 等	部 局	教育委員会
									課等・班	スポーツ振興課・振興班
① 事務 事業 の 概 要	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
	具体的施策	生涯スポーツの推進								
	実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	運動を通じた健康づくりの支援			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	スポーツ基本法・社会教育法 八街市立小学校及び中学校の施設の開放に関する規則	
	直接の対象者 (〜に対して)	市民						最終的な受益者	市民	
事業目的 (〜という状態にするために)	八街市における社会体育の普及並びに幼児及び児童の安全な遊び場確保のために、学校の施設を学校教育に支障のない範囲で市民の利用に供する。									
具体的な事業内容 (〜を行う)	市内小中学校の校庭、運動場、プールの一般開放を行い、施設の有効活用と市民の運動意識の高揚を図る。									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実 績 ・ 成 果	区分		単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)			
	事業の実績	学校施設開放(屋内運動場)	施設	16	16	16	16			
		学校施設開放(屋外運動場)	施設	13	13	13	13			
		プール開放(八街北中学校、八街南中学校)	施設	2	2	0	0			
	事業の効果	学校開放利用者(屋内運動場)	人	167,821	136,229	10,855	172,000			
		学校開放利用者(屋外運動場)	人	34,672	31,363	19,835	38,000			
		プール開放利用者(実人数)	人	1,012	814	0	0			
事業効果に関する外部要因										
事業効果の総合分析 (達成できたこと)	八街市における生涯スポーツの普及並びに幼児及び児童の安全な遊び場確保のために、学校の施設を学校教育に支障のない範囲で幼児、児童、生徒及び一般市民の利用に供し、市民の運動意識高揚を図った。令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、体育館、武道場、校庭の開放の利用制限を行い、プール開放については中止とした。									
④ 事 業 コ ス ト			単位	30年度	元年度	2年度	3年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	3,496	3,417	249	249			
	決算額		千円	3,419	3,349	193				
		特定・その他財源()	千円							
		一般財源	千円	3,419	3,349	193				
2年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		需用費	10							
		委託料	183							

Check 事務事業の評価							
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価		
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市民の生涯スポーツの普及並びに幼児・児童の安全な遊び場確保のために市民のニーズは高い。	A		
		市の関与は妥当ですか	a	市で管理する学校施設を有効利用するための開放であり、必要不可欠である。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	市民の生涯スポーツに有効利用されており、現在飽和状態(待機あり)となっている。	A		
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	カギの長期貸出しを平成21年度から実施。	A		
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし 学校施設のスポーツ開放にあたっては、団体登録を行い、参加希望者がある場合、代表者を紹介(本人了解済の団体)するなどしている。また、プール開放については全市民を対象にしており、公平性は保たれている。	A		
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	現在、スポーツ開放については、飽和状態で待機待ちの状態であり、耐震工事による利用停止など団体の利用箇所に制限がされる。	A		
外部評価							
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A		
				評価者 2	A		
Action 今後の事務事業の方向							
⑥	3年度における取組のPRと方向性	遊び場開放について、学校だより等による広報を依頼。今後においてもPRに努める。体育館、武道場、校庭の開放については、登録制による利用となるため、HPを活用しPRに努める。					
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向					
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止
		学校施設のスポーツ開放、遊び場開放は市民のスポーツの振興及び意識の高揚のためにも継続して実施していかなければならないが、スポーツ開放について、飽和状態となっており、今後も利用状況を把握、整理し、効率を図ることが必要である。また、学校プール開放については、民間施設を活用した開放について検討を行う。					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

